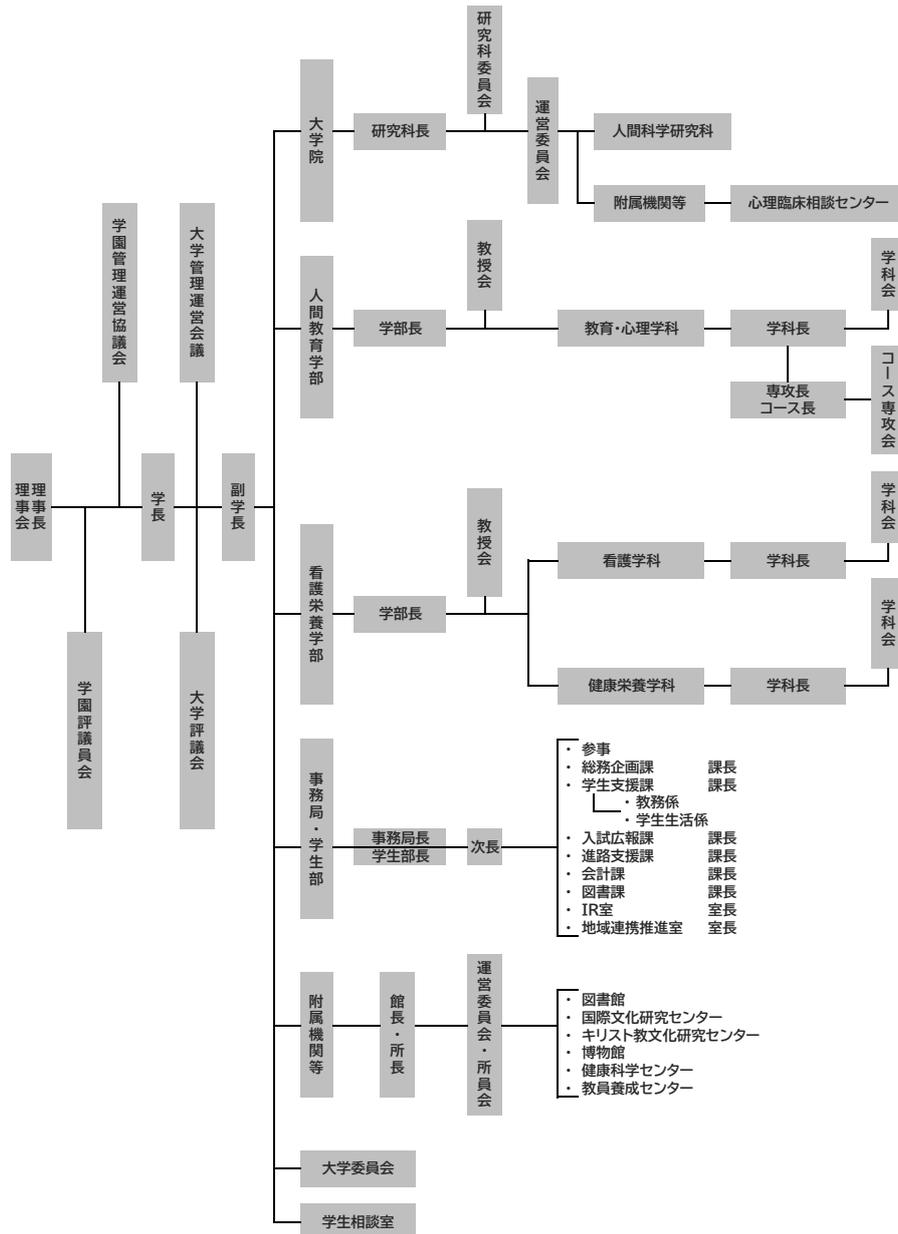


（1）教員組織、各教員が有する学位及び業績

組織機構図（令和 6 年 5 月 1 日現在）



注 1 教授会・・・学校教育法第 93 条で置くこととされている教授会は、大学院「研究科委員会」及び各学部「教授会」とする。
 注 2 大学評議会・・・学則第 7 条で置かれる学長の諮問機関である。

各教員が有する学位及び業績（令和 6 年 5 月 1 日現在）

専任教員（66 名）についての情報を学科別に掲載 [次ページ参照]
 ※大学院教員は兼任のため再掲を省略

専任教員一覧（所属・職階別）

人間教育学部

学科	番号	職名/職階	氏名
教育・心理学科	1	学長/教授	山口 明美
	2	副学長/教授	洞田 勝博
	3	学部長(兼)学科長/教授	釘田 雅司
	4	児童生徒教育コース長/教授	遠藤 武夫
	5	こども発達コース長/教授	神丸 一祐
	6	心理・文化専攻長/教授	久木田 英史
	7	教授	岡村 和信
	8	教授	川上 典子
	9	教授	口岩 俊子 ※1
	10	教授	小島 摩文 ※2
	11	教授	島 立久
	12	教授	仙波 玲子
	13	教授	中村 誠文 ※2
	14	教授	広瀬 健一郎
	15	教授	幸 聖二郎
	16	教授	餅原 尚子 ※2
	17	准教授	石井 洋平 ※2
	18	准教授	井上 祐子 ※2
	19	准教授	加藤 理恵
	20	准教授	川村 晃市
	21	准教授	栗原 真孝
	22	准教授	寺田 将春
	23	講師	ニコラス・ウォルターズ
	24	講師	二瓶 正登 ※2
	25	専任講師	ニコール・エーラーズ
	26	助教	笹川 裕美 ※2
	27	助教	前田 真奈美

※1： 大学院人間科学研究科長

※2： (兼)大学院専任教員

看護栄養学部

学科	番号	職名/職階	氏名
看護学科	1	学科長/教授	七川 正一
	2	教授	小楠 範子
	3	教授	塩満 芳子
	4	教授	園田 麻利子
	5	教授	福岡 美和
	6	准教授	白水 美保
	7	准教授	福永 知久
	8	准教授	前原 宏美
	9	准教授	檜柑 富貴子
	10	准教授	柳園 順子
	11	講師	浅野 倫子
	12	講師	鞍掛 洋美
	13	講師	萩原 久美子
	14	講師	福岡 真理
	15	講師	山下 里奈
	16	講師	米元 富貴代
	17	助教	新福 絵里香
	18	助教	濱崎 清歌
	19	助教	疋田 幸喜
	20	助教	又木 真紀子
	21	助手	奥平 綾美
	22	助手	竹原 晴美
	23	助手	濱田 寿美
	24	助手	脇園 幸恵
健康栄養学科	1	学部長(兼)学科長/教授	中野 隆之
	2	教授	安宅 弘司
	3	教授	牧原 勝志
	4	教授	松元 圭太郎
	5	准教授	今村 佳代子
	6	准教授	川野 美智代
	7	准教授	木之下 道子
	8	准教授	山元 有子
	9	講師	喜(寺師) 美里
	10	講師	真邊 久美
	11	助教	久永 まゆみ
	12	助教	南 勇真
	13	助手	岩元 幸奈
	14	助手	上原 友香里
	15	助手	迫田 夏貴

【備考】 育休中の助手の代替人員（任期付助手）を除く

◆人間教育学部 教育・心理学科

教員情報

(令和6年5月1日現在)

山口 明美 (YAMAGUCHI Akemi)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科
職名	教授 / 学長

【学位・業績等】

有する学位	家政学修士
学位取得大学	大妻女子大学大学院家政学研究科
主な担当科目	家庭科教育法、純心講座
専門分野	被服整理学 被服材料学
主な研究テーマ	中学・高等学校における家庭科教育のあり方 家庭科指導力を育成する模擬授業の効果に関する検討
学会・社会活動	日本家庭科教育学会 日本家政学会 日本繊維製品消費科学会 生活やものづくりの学びネットワーク 開発教育協会 日本アクティブ・ラーニング学会
主な業績 (教育・研究等)	小学校家庭科における衣生活分野の取り組みについて 「生きる力」「人間力」を育むために 一幼児の生活時間、乳幼児の関わり方から見えてくるもの— 家庭科の授業を担当できる小学校教員養成のあり方 九州地区の小学校教諭教職課程大学等の家庭科関連科目シラバス分析 家庭科指導力を育成する模擬授業の効果に関する検討 「小学校家庭科の授業をつくる—理論・実践と基礎知識」共著

教員情報

（令和6年5月1日現在）

洞田 勝博（HORATA Katsuhiko）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科
職名	教授 / 副学長

【学位・業績等】

有する学位	工学修士
学位取得大学	広島大学大学院工業化学専攻科
主な担当科目	情報科学概論、基礎情報処理
専門分野	情報処理教育
主な研究テーマ	情報処理教育と専門教育との連携について 看護研究における動画の利用法
学会・社会活動	情報処理学会 薩摩川内市子育て支援会議委員 座長 など
主な業績 （教育・研究等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島純心女子大学における教育 DX 化の推進に向けたネットワーク整備の取り組み ・ 「算数科教育法」の実践と課題について ～2年間のアンケート結果からの考察～ ・ 複式学級における同単元で行う算数科授業の提案 ～効果的な「学習の手引き」の活用について～ ・ Moodle を利用した保育実践の試み ～授業研究「乳児保育Ⅱ」乳幼児を対象としたレクリエーション計画～ ・ 授業研究 『算数科教育法』の取り組みと課題 ～授業終了後のアンケート結果からの考察～ ・ Mahara とマルチメディアサーバ連携の試み ・ 動画を用いたピアノレッスンの実践 ・ グラフ的数列の帰納的構成とその数え上げ ・ 等差素数列について など

教員情報

（令和6年5月1日現在）

釘田 雅司（KUGITA Masashi）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授 / 人間教育学部長 兼 教育・心理学科長

【学位・業績等】

有する学位	教育学修士
学位取得大学	上越教育大学大学院学校教育研究科
主な担当科目	特別支援教育概論 重複障害・LD等教育 特別支援教育課程論
専門分野	特別支援教育
主な研究テーマ	知的障害教育 特別支援学校教育課程 発達障害児への指導・支援
学会・社会活動	日本特殊教育学会 日本発達障害学会 薩摩川内市教育支援委員会会長 鹿児島県社会福祉協議会評議員 阿久根市いじめ問題対策委員
主な業績 （教育・研究等）	<p>鹿児島県立特別支援学校教員・校長，鹿児島県教育庁特別支援教育室長等を経て現職</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダウン症児の視覚－運動能力における形態の認知機能と構成機能 1991年 日本発達障害学会 発達障害学研究第13巻 ・特別支援教育推進のための鹿児島県総合教育センターの取組 2004年 上越教育大学障害児教育実践センター紀要第10号 ・知的障害のある子どもの視知覚－運動機能の協調性を育てる支援 2018年 鹿児島純心女子大学 こども学研究 こども発達臨床センター紀要第10号 ・高等特別支援学校における消費者教育に保護者が求める学習内容に関する調査研究（共著）2023年 日本発達障害支援システム学会 発達障害支援システム学研究第22巻第2号 ・自閉児の行動特性を活用し行動変容を図った指導事例 1994年 クロアール精神薄弱教育実践講座第2巻 ・障害児発達支援基礎用語事典 特別なニーズ教育に応えるためのキーワード110（共著）2002年 川島書店

教員情報

(令和6年5月1日現在)

遠藤 武夫 (ENDO Takeo)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授 児童生徒教育コース長

【学位・業績等】

有する学位	教育学修士
学位取得大学	兵庫教育大学大学院
主な担当科目	音楽科教育法 音楽概論 音楽Ⅰ～Ⅳ 保育実技特講Ⅰ
専門分野	音楽科教育
主な研究テーマ	伝統音楽の教材化 歌唱指導 リコーダー指導 吹奏楽指導
学会・社会活動	日本教科教育学会 鹿児島県音楽教育連盟理事 薩摩中央高等学校運営協議会委員 本学主催「童謡・唱歌・日本歌曲フェスティバル」企画運営統括(2022年～)
主な業績 (教育・研究等)	<p><教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県公立小学校・中学校・高等学校(教諭) ・鹿児島県教育庁学校教育課指導主事 ・鹿児島県公立高等学校(教頭、校長) ・第10回及び第11回全日本小学校バンドフェスティバル出場 (鹿児島大学教育学部附属小学校吹奏楽部) ・第63回九州合唱コンクール 金賞 (鹿児島県立鶴丸高等学校音楽部) ・第1回及び第3回声楽アンサンブルコンテスト全国大会 銅賞 (鹿児島県立鶴丸高等学校音楽部) <p><研究></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本音楽と音楽科教育 ～小・中学校における学習内容の体系化～」 1990年 兵庫教育大学教科領域教育専攻芸術系コース修士論文 ・「日本音楽と音楽科教育」 1990年 音楽之友社 季刊音楽教育研究 秋65 ・「音楽をつくって表現する学習の展開 ～おもいを重視して～」 1991年 広島大学附属小学校学校教育研究会 学校教育9 NO.890 ・「伝統音楽の教材化の可能性」(共著) 1999年 兵庫教育大学研究集録第18巻 第2分冊 ・「学校音楽におけるポピュラー音楽の有用性について」 2000年 兵庫教育大学芸術教育研究誌 教育と芸術 ・「日本の感性を育む系統的な伝統音楽の学習」 2004年 CD-ROM版 音楽科教育実践講座(山本文茂監修) ・「純正な和音の響きを作る能力を育成するリコーダー学習 ～小学校音楽における指導内容・方法」 2019年 日本教科教育学会誌 第42巻 第3号 ・校歌考「消える校歌 生まれる校歌」(共著) 2020年 南方新社 新薩摩学14 古閑章・栗原真孝編 P82～P108 <p><演奏></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「遠藤武夫(テノール)リサイタル ～愛と平和をうたう～」 2024年 鹿児島純心大学 セント・メリーズ・チャペル <p><作品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・星ヶ峯幼稚園創立30周年記念歌「ほしのきらめき」 2010年11月 ・騎射場れいわ保育園園歌 2021年5月 ・天文館てんてん保育園園歌 2021年5月 ・薩摩川内市立祁答院小学校校歌 2023年11月 ・「命をいきる ～真広にささげる歌～」 2023年11月

教員情報

(令和6年5月1日現在)

神丸 一祐 (KAMIMARU Kazuhiro)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 こども発達コース
職名	教授 / こども発達コース長

【学位・業績等】

有する学位	体育学士
学位取得大学	筑波大学体育専門学群
主な担当科目	健康スポーツ、健康科学 体育科教育法 保育内容(健康)・(表現)
専門分野	体育学(生理学・バスケットボール)
主な研究テーマ	・バスケットボール方法論 ・小学校における体育授業の指導法
学会・社会活動	学会： 九州体育・スポーツ学会(兼日本体育学会九州支部) 社会活動： 鹿児島県バスケットボール協会 審判委員長補佐 JBA 公認 A 級審判 JBA 公認 2 級審判インストラクター JBA 公認 D 級コーチ
主な業績 (教育・研究等)	『バスケットボール競技審判の運動強度と運動効果』 『体づくり運動としてのコーディネーショントレーニング』 『小学校体育における児童の学習支援方法としての教材に関する検討』

教員情報

(令和6年5月1日現在)

久木田 英史 (KUKITA Eishi)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻
職名	教授 / 心理・文化専攻長

【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	東京大学大学院人文社会系研究科
主な担当科目	フランス語、フランス文化論、フランス文学
専門分野	フランス文学・思想
主な研究テーマ	17世紀フランス科学思想史
学会・社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・日本フランス語フランス文学会 ・薩摩川内市民まちづくり公社理事 ・薩摩川内市社会教育委員
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・『フランス文化事典』(共著)丸善出版 ・『デザルグの円錐曲線論とその歴史的意義』共立出版「数学文献を読む会」講演 ・Girard Desargues, maître de Pascal, <i>Revue de Langue et Littérature Françaises</i>, n° 49, Société de Langue et Littérature Française de l'Université de Tokyo ・Théorie des coniques selon l'involution chez Desargues, 『国際人間学部紀要第24号』鹿児島純心女子大学 ・Représentation de la Géométrie non-euclidienne par un Modèle hémisphérique, 『国際人間学部紀要第25号』鹿児島純心女子大学

教員情報

(令和6年5月1日現在)

岡村 和信 (OKAMURA Kazunobu)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	ゴンザガ大学
主な担当科目	アメリカ文学、イギリス文学
専門分野	英米文学
主な研究テーマ	現代アメリカ文学
学会・社会活動	日本アメリカ文学会 九州アメリカ文学会
主な業績 (教育・研究等)	<i>The Theme of the Father-Daughter Relationship in "Daddy"</i> <i>Two Themes on "Lady Lazarus"</i> <i>The Themes of Love and Childbirth in the Work of Sylvia Plath</i>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

川上 典子 (KAWAKAMI Noriko)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	MA
学位取得大学	Reading University
主な担当科目	英語科教育法、児童英語、児童英語演習、異文化コミュニケーション論
専門分野	英語教育、応用言語学
主な研究テーマ	小学校英語活動、英語教育における小中連携、教員研修
学会・社会活動	大学英語教育学会 (JACET) 日本児童英語教育学会 (JASTEC) 小学校英語教育学会 (JES) 全国英語教育学会
主な業績 (教育・研究等)	<p>[著書] 共著「中学校英語の運用力をつける授業づくり&指導のツボ」2012, 明治図書 共著「21世紀の英語科教育」2007, 開隆堂</p> <p>[論文] 単著「中学校英語教科書に見る小中連携」 鹿児島純心女子大学紀要第28号, 2022 単著「英語教育のコア・カリキュラム(試案)の汎用性の検証へ向けて」 鹿児島純心女子大学紀要第23号, 2017 単著「小学校英語の教科化に向けて: 研究開発校の指導体制の再考」 鹿児島純心女子大学紀要第21号, 2015 単著「英語教育における小中連携: 文字指導のあり方」 鹿児島純心女子大学紀要第20号, 2014</p>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

口岩 俊子 (KUCHIIWA Toshiko)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授/大学院 人間科学研究科 研究科長

【学位・業績等】

有する学位	医学博士
学位取得大学	弘前大学大学院医学研究科博士課程
主な担当科目	[学部] 人体の構造と機能、人体の構造と機能及び疾病 [大学院] 神経学特論
専門分野	脳科学、神経解剖学
主な研究テーマ	実験動物における鬱症状の定量的評価の試み ダイオキシン胎盤・母乳暴露による脳への影響について
学会・社会活動	日本神経科学会、日本解剖学会、日本薬理学会
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation of aggressiveness of female mice using a semi-automated apparatus for measurement of aggressive biting behavior toward an inanimate object. Toshiko Kuchiiwa & Satoshi Kuchiiwa Neurosci Meth., 257(2016)179-184. 2. A novel semi-automated apparatus for measurement of aggressive biting behavior in mice. Satoshi Kuchiiwa & Toshiko Kuchiiwa Neurosci Meth., 228(2014)27-34. 3. 頭頸部の自律神経 口岩 聡、口岩 俊子 JOHNS,30(2014)1403-1407 4. 光を見るとくしゃみが出るのはなぜですか？ 口岩 聡、口岩 俊子 Clinical Neurosci., 33(2015)479 5. 特許第4858996号 【発明の名称】 刺激応答計測装置および刺激応答計測方法 【日本国登録日】 2011年11月11日

教員情報

（令和6年5月1日現在）

小島 摩文（KOJIMA Mabumi）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院
主な担当科目	〔学部〕 民俗学、日本文化論、こども文化概論、博物館概論 〔大学院〕 文化人類学特論
専門分野	民俗学、民具学、博物館学
主な研究テーマ	民具研究、物質文化研究、 馬と人の関わり
学会・社会活動	日本民具学会会員 鹿児島民俗学会会員、鹿児島民具学会副会長、比較民俗学会会員
主な業績 （教育・研究等）	<p>「馬」『図録 メコンの世界・歴史と生態』秋道智彌編 弘文堂 2007</p> <p>「塩と茶の交易史」（共著）『地域の生態史 [モンスーンアジアの生態史第2巻]』ダニエルス・クリスチャン編 弘文堂 2008 弘文堂（2008/5/16）</p> <p>「在宅と外在化」『死の儀法－在宅死に見る葬の礼節・死生観』近藤功行編 ミネルバ書房 2008 04</p> <p>「民具学としての物質文化研究」『国際常民文化研究叢書3』神奈川大学 国際常民文化研究機構 2013</p> <p>「アチックフィルムにみる民具」『国際常民文化研究叢書10』神奈川大学 国際常民文化研究機構 2015</p> <p>「馬具の種類と名称について－データベース化のための標準名を考える－」『神奈川大学 国際常民文化研究機構 年報 第5号』2015</p>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

島 立久 (SHIMA Tatsuhisa)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	教育学士
学位取得大学	鹿児島大学教育学部
主な担当科目	算数科教育法、教職論
専門分野	教職課程(小学校)
主な研究テーマ	小学校算数科授業づくり
学会・社会活動	日本数学教育学会, 公益財団法人日本教育公務員弘済会鹿児島支部運営委員・教育振興事業選考委員, 一般財団法人理数教育研究所塩野直道記念「算数・数学の自由研究」作品コンクール地区審査委員
主な業績 (教育・研究等)	<p>鹿児島県公立小学校教員・校長, 鹿児島県数学教育研究会副会長・小学校部会長を経て現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「算数科授業のすすめ・問い続ける子どもたち(第3学年)」 ～かけ算のひっ算 算数授業研究会 東洋館出版 ・「算数科授業のすすめ・このアイデアが子どもを動かす(第5学年)」 ～分数 算数授業研究会 東洋館出版 ・「子どもの考えのまとめ方・発展のさせ方のアイデア」 ～導入時における子供のアイデアと教師の働きかけ 明治図書 ・自立・創造・責任による信頼される学校づくりのあり方～研究開発学校としての特色ある学校づくり 九州地区小学校校長協佐賀大会要録 ・「深い学び」の実現に向けた授業づくり 鹿児島県小学校教育研究会算数研究第56号 ・「算数科教育法」の実践と課題について 共著 鹿児島純心女子大学 教員養成センター報創刊号 ・「カリキュラム・マネジメントへの『かかわり』」 鹿児島純心女子大学 教員養成センター報創刊号 ・「総合的な学習の時間の単元構想」 鹿児島純心女子大学 教員養成センター報第2・3合併号 ・「複式学級における同単元で行う算数科授業の提案」 共著 鹿児島純心女子大学こども発達臨床センターこども学研究9号 ・「教材との対話～ちょっとひと工夫」 鹿児島市算数部会算数だより第64号 ・「学校教育目標の具現と特別活動の実践」 鹿児島純心女子大学教員養成センター報第7号

教員情報

(令和6年5月1日現在)

仙波 玲子 (SEMBA Reiko)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	名古屋大学文学研究科博士後期課程
主な担当科目	ドイツ語、ドイツ文学、ドイツ文化論
専門分野	ドイツ文学・文化史
主な研究テーマ	世紀転換期ウィーンにおける日本 メルヘンの日本における受容
学会・社会活動	2015～ 鹿児島県育英財団評議員 2017～ 薩摩川内市行政改革推進委員会委員 2020～ 鹿児島地方労働審議会委員 2021～ 日本独文学会西日本支部経理委員
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. <i>Das Erzählverfahren im Prosawerk von Ingeborg Bachmann – Die Gewinnung von verlorener Sprache</i> – In: H. Scholz (Hrsg.): <i>Undine geht nach Japan. Zu interkulturellen Problemen der Ingeborg Bachmann-Rezeption in Japan</i>. trafo verlag 2001. S.105-121. 2. 「文学に見るオーストリア・ケルンテン州—境界と向き合う周縁性—」 鹿児島純心女子大学国際文化研究センター編『新薩摩学 風土と人間』南方新社 2003 187～219 頁 3. 「ペーター・アルテンベルク—世紀末ウィーンのカフェ文士」 仙波玲子編『新薩摩学 知られざる近代の諸相 変革期の人々』南方新社 2013 227～265 頁 4. 「川内の僧侶 菅了法とグリム童話」 古閑章・仙波玲子編『新薩摩学 もっと知りたい鹿児島』南方新社 2014 131～151 頁 5. 「川内からグリムのメルヘンを思う」 古閑章編『新薩摩学 旅する世界』南方新社 2018 73～88 頁

教員情報

(令和6年5月1日現在)

中村 誠文 (NAKAMURA Masafumi)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士・公認心理師
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	心理臨床学修士
学位取得大学	鹿児島純心女子大学大学院
主な担当科目	[学部] 公認心理師の職責、社会・集団・家族心理学 [大学院] 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と方法
専門分野	臨床心理学・家族心理学 家族療法・短期療法
主な研究テーマ	不登校支援における心理臨床家の役割に関する研究 シングル・セッションに関する研究 心理臨床における「連携」と「協働」に関する研究
学会・社会活動	日本心理臨床学会 日本家族心理学会 鹿児島精神神経学会 九州心理学会 日本ブリーフセラピー協会
主な業績 (教育・研究等)	<p><学術論文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「連携」と「協働」の概念に関する研究の概観—概念整理と心理臨床領域における今後の課題— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第7号(共著) 2012. ・心理臨床学的研究への現象学的アプローチの貢献への可能性—個別性と普遍性に着目して— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号(共著) 2015. ・教育現場における心理臨床家の役割—教員への不登校支援に視点をあてたアンケート調査から— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号 2015. ・拘束と記述から得られるもの—ベイトソンの認識論から— International Journal of Brief Therapy and Family Science (I.J.B.F.) Vol. 5, No. 1 (共著) 2014. ・障害児支援の変遷と今後の可能性について—「連携」に視点をあてて— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第11号 2016年 ・スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーによる連携・協働に関する—考察— 鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要第8号 2016. 他 <p><著書(共著)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力を育む保育内容領域 人間関係—こどもにとっての人間関係とは—(斎藤崇編著) 教育情報出版 2023. ・保育内容「人間関係」と指導法 考える・調べる・学び合う(近喰晴子・小泉裕子編著) 中央法規 2023.

教員情報

（令和6年5月1日現在）

広瀬 健一郎（HIROSE Ken' ichiro）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	修士（教育学）
学位取得大学	北海道大学大学院教育学研究科博士課程
主な担当科目	子育ての原理、保育内容総論、教育実習（幼稚園）
専門分野	教育学（教育史・比較教育・教育実践論）
主な研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・現代カナダ先住民族教育史 ・保育者養成実践研究 ・授業における「対話」に関する研究
学会・社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダ教育学会理事 ・日本カナダ学会理事 ・日本教育学会会員 ・日本保育学会会員
主な業績 （教育・研究等）	<p>（共著）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「先住民教育の現在—教育の自治を求めて」、飯野正子・竹中豊監修、日本カナダ学会編『現代カナダを知るための60章』、明石書店、2021年。 ・「学力保障と伝統文化の継承は両立できるか—奄美群島の挑戦」、古閑章編『新薩摩学15 学問のエッジを極める』、南方新社、2020年。 ・「先住民の自治—「主権」の喪失と回復追求の近現代史」、細川道久編『カナダの歴史を知る50章』、明石書店、2017年。 ・「先住民族研究から見える奄美研究の可能性—「新薩摩学」と「奄美学」の知的融合に向けて—」、仙波玲子・古閑章編『新薩摩学10 もっと知りたい鹿児島』、南方新社、2014年。 ・「カナダにおける先住民族教育システム構築のための論理と戦略—日本への示唆を求めて」、日本社会教育学会編『アイヌ民族・先住民族教育の現在』、東洋館出版社、2014年。 ・「戦後カナダの先住民族に対する経済開発政策と教育—1946-1969」、岸上伸啓編『北アメリカ先住民の社会経済開発』、明石書店、2008年。 ・『東京イチャルパへの道—明治初期のアイヌ教育をめぐって』（長谷川修、狩野雄一との共著）、現代企画、2008年。 ・岡本菰子編『つくってさわって感じて楽しい 実習に役立つ表現遊び②』、北大路書房、2007年。 ・関口礼子・浪田克之介編『多様社会カナダの「国語」教育』、東信堂、2006年。 ・小林順子ほか編『21世紀にはばたくカナダの教育』、東信堂、2003年。

教員情報

(令和6年5月1日現在)

幸 聖二郎 (MIYUKI Seijiro)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	教育学修士
学位取得大学	兵庫教育大学大学院
主な担当科目	国語科教育法 こども文学 日本文学
専門分野	国語科教育学
主な研究テーマ	小学校国語科における音声言語の指導に関する研究
学会・社会活動	全国大学国語教育学会 日本国語教育学会 日本カトリック教育学会
主な業績 (教育・研究等)	<p>「総合的な学習の時間」と「国語科」との両輪でことばの力をつける (第114回全国大学国語教育学会茨城大会・2008年6月1日)</p> <p>「声を届ける」活動から「討論する」活動へ ～入門期の「話すこと指導」の試み～ (日本国語教育学会主催第72回国語教育全国大会・2009年8月4日)</p> <p>「宗教の授業」と「道徳の授業」の積極的な交流を (カトリック教育研究第26号・2009年8月31日)</p> <p>子どもが本好きになる読書単元の指導 ～1年「ずうっと、ずっと、大すきだよ」の実践を通して～ (月刊国語教育研究第469号・2011年5月10日)</p> <p>「人格教育」に向けての提言～カトリック系小学校の現場から～ (カトリック教育研究第32号・2015年8月31日)</p> <p>積極的な生徒指導を進めるための特別活動の在り方 ～学級活動にソーシャルキルトレーニングを取り入れることの意義～ (北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要第8号・2016年3月4日)</p> <p>小・中学校における特別活動の意義と内容及び展開の仕方 (北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部教職課程研究第2号・2016年8月31日)</p> <p>小・中学校における特別活動の意義と内容及び展開の仕方Ⅱ ～本学における「特別活動の研究」での取組を通して～ (北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部教職課程研究第3号・2017年2月25日)</p> <p>金子みすゞの詩にみる宗教性～みすゞを育てたふるさと「仙崎」～ (北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部教職課程研究第4号・2017年9月30日)</p> <p>日本の児童文学に影響を与えたあまんきみこの作品分析 ～小学校教材「ちいちゃんのかげおくり」に着目して～ (北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部教職課程研究第7号・2020年3月5日)</p> <p>あまんきみこにとっての「満州」とその作品に関する一考察 ～「雲」の作品分析を中心に～ (北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部教職課程研究第8号・2021年3月1日)</p>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

餅原 尚子 (MOCHIHARA Takako)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授 / 大学院心理臨床相談センター長

【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院人文科学研究科(心理学)
主な担当科目	[学部] 臨床心理学概論等 [大学院] 臨床心理学特論、臨床心理面接特論、臨床心理査定演習等
専門分野	臨床心理学
主な研究テーマ	トラウマ(PTSD、CIS)、発達障害、情緒障害、精神障害、人格障害等の臨床心理査定、臨床心理面接に関する研究
学会・社会活動	<学会> 日本心理臨床学会・日本ロールシャッハ学会 日本人間性心理学会・日本児童青年精神医学会 など <社会的活動> 鹿児島労働局発達障害者専門指導監/ 鹿児島県教育支援委員会委員/鹿児島県社会福祉審議会委員/ 公益社団法人かごしま犯罪被害者支援センター理事長 など
主な業績 (教育・研究等)	<学術論文> ・性的虐待(レイプ、セクハラ・ストーカー)により、PTSD症状を呈した2症例のロールシャッハ反応(査読付 2001) ロールシャッハ研究第5巻(日本ロールシャッハ学会) p53~66 ・性犯罪被害によるPTSDの事例へのカウンセリング~信頼の絆が結ばれるまで~(査読付 2003) カウンセリング研究、第36巻、(日本カウンセリング学会) p437~445 ・救援者のストレス(PTSD、CIS)の予防とケアに関する臨床心理学的研究(2005) 平成15~17年度科学研究費補助金(若手研究B)報告書 ・ある発達障害児への児童中心遊戯療法の過程~発達の變化に視点をあてて~(2008) 鹿児島純心女子大学心理臨床相談センター紀要第3号 P19~26 ・ロールシャッハ・テスト後に急速な回復を見せたTSDの2事例(査読付 2015) ロールシャッハ研究第19巻(日本ロールシャッハ学会) ・質的研究におけるインタビューに関する一考察~現象学的心理学の視点から~(2024) 鹿児島純心大学大学院心理臨床相談センター紀要第19号 他 <著書(共著)> ・臨床心理学辞典(恩田彰・伊藤隆二編)(1999) 八千代出版 ・最新・心理学序説(本明寛監修)(2002) 金子書房 ・新臨床心理学(橋口英俊・滝口俊子編著)(2004) 八千代出版 ・臨床心理学(久留一郎・餅原尚子著)(2019) —「生きる意味」の確立と心理支援— 八千代出版 など <外部資金> ・2003年~2005年度(科学研究費)、2005年~2007年度(学術研究振興資金)、2008年~2022年度(科学研究費) KAKEN: http://kaken.nii.ac.jp/d/r/70352474.en.html

教員情報

（令和6年5月1日現在）

石井 洋平（ISHII Youhei）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士・公認心理師
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	医学博士
学位取得大学	久留米大学大学院
主な担当科目	（学部）心理学的支援法、神経・生理心理学など （大学院）心の健康教育に関する理論と実践、臨床心理基礎実習など
専門分野	精神生理学、臨床心理学
主な研究テーマ	統合失調症患者の認知機能について
学会・社会活動	日本臨床神経生理学学会、日本精神神経学会、日本神経科学会、日本心理臨床学会、九州精神神経学会
主な業績 （教育・研究等）	<ul style="list-style-type: none"> ● 近赤外線スペクトロスコピーとアイマークを用いた統合失調症者の情動関連血流変動の特性-健常者との比較検討-. 臨床神経生理学, 18巻1号, 2008 (共著) ● Effects of emotionally charged sounds in schizophrenic patients using exploratory eye movements: comparison with healthy subjects. Psychiatry and clinical neurosciences, Vol. 64, 2010 (共著) ● Left eye scanning deficit in schizophrenia patients under emotional loading task: comparison with healthy controls. Kurume medical journal, Vol. 59, No. 1-2, 2012 (共著) ● しりとり課題を用いた単一事象関連デザインによるNIRS計測 (Kurume Single Event Related Design: K-SERD) の試み: 健常者と統合失調症患者との比較検討. 臨床神経生理学, 47巻3号, 2019 (共著) ● The changes in concentration of cerebral oxygenated hemoglobin during single event-related Japanese Shiritori task in patients with major depression disorder: comparison with healthy subjects. Frontiers in Psychiatry, Vol. 12, 2021 (共著)

教員情報

（令和6年5月1日現在）

井上 祐子（INOUE Yuko）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	博士（社会福祉学）
学位取得大学	同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程
主な担当科目	〔学部〕 保育実習、保育実践演習、保育内容（人間関係）の理論と方法 〔大学院〕 福祉行政総論
専門分野	ソーシャルワーク論、社会福祉教育・実習、高齢者福祉、児童福祉
主な研究テーマ	福祉人材の職務体制の継続的サポートに関する研究
学会・社会活動	〔学会〕 日本社会福祉学会、日本子ども学会、日本学校ソーシャルワーク学会、同志社大学社会福祉学会、日本社会福祉教育学会 〔社会活動〕 社会福祉法人隈之城福祉協会評議員
主な業績 （教育・研究等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「高いパフォーマンスを発揮できる、介護従事者のコンピテンシーとは」井上祐子『ケアスル介護』2024. (https://caresul-kaigo.jp/column/articles/35499/) ・ 「育みたい資質・能力に関する保育者のコンピテンシー測定尺度の開発」井上祐子・姜民護・高橋順一・黒木保博『チャイルド・サイエンス』25、2023、pp. 29-35. ・ 「職業人としての基礎能力の育成におけるコンピテンシー測定尺度の開発過程に関する批判的論評」井上祐子・高橋順一・姜民護・黒木保博『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』27、2021、pp. 25-51. ・ 「2017年告示保育所保育指針からみる乳児保育における愛着形成に関する支援」井上祐子『鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要』15、2020、pp. 25-33. ・ 「2017年告示保育所保育指針における保育内容5領域の変遷の背景と方向性」井上祐子『鹿児島純心女子大学人間教育学部紀要』26、2020、pp. 3-21. ・ 「保育内容に関する保育者のコンピテンシーの研究動向と課題」井上祐子・姜民護・高橋順一・黒木保博『鹿児島純心女子大学人間教育学部紀要』26、2020、pp. 23-37. ・ 「保育者効力感測定尺度の開発過程に関する批判的論評」井上祐子・高橋順一・中嶋和夫・黒木保博『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』25、2019、pp. 1-29. ・ 「保育者のケアリング測定尺度の開発過程に関する批判的論評」井上祐子・高橋順一・中嶋和夫・黒木保博『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』25、2019、pp. 31-47. ・ 「保育者効力感に関する研究動向と課題」井上祐子『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』20、2014、pp. 47-62. ・ 「Deci理論を基礎とする高齢者福祉施設の生活相談員の職務満足度に関する検討」井上祐子・黒木保博『社会福祉学』51(4)、2011、pp. 91-103.

教員情報

（令和6年5月1日現在）

加藤 理恵（KATOH Rie）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻
職名	准教授 / キリスト教文化研究センター副所長

【学位・業績等】

有する学位	学術博士
学位取得大学	九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程
主な担当科目	現代日本語研究、対照言語学、日本語教授法
専門分野	日本語学・日本語教育
主な研究テーマ	意味論・日本語教育
学会・社会活動	日本語教育学会・日本語文法学会・日本認知言語学会
主な業績 （教育・研究等）	<p>加藤理恵（2016）「地域日本語教室での文字学習支援の必要性——2014年度日本語教育実習報告書の分析から——」鹿児島純心女子大学『国際人間学部紀要』22, 19-26.</p> <p>加藤理恵（2013）「日本語話者の作文を提示した上級日本語学習者の作文へのフィードバックの検討」鹿児島純心女子大学『国際人間学部紀要』19, 67-75.</p> <p>加藤理恵(2011)「学部生による日本語教育実習での学びの過程」鹿児島純心女子大学『国際人間学部紀要』17, 59-76.</p>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

川村 晃市 (KAWAMURA Koichi)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	博士(学術)
学位取得大学	神戸大学
主な担当科目	英語科教育法、初等英語科教育法、英語教育特講、英語音声学など
専門分野	応用言語学、教育工学
主な研究テーマ	学習分析、学習支援システム
学会・社会活動	日本教育工学会
主な業績 (教育・研究等)	<p>論文</p> <ol style="list-style-type: none"> An Analysis on Learners' Word Reading and Writing in an English Reading-to-Write Task System Kang, M., Kawamura, K., Kashiwagi, H., & Otsuki, K., Springer International Publishing, 2021, Learning Technologies and Systems, 47-53. Developing an Approach toward Automatic Error Detection in Learners' English Writing Based on the Source Language Kawamura, K., Kashiwagi, H. & Kang, M., The International Academy, Research and Industry Association, 2019, International Journal on Advances in Intelligent Systems, 11, 3&4, 202-211. An Approach toward Automatic Error Detection in Learners' English Writing Based on the Source Language Kawamura, K., Kashiwagi, H. & Kang, M., International Academy, Research, and Industry Association, 2018, Proceedings of The Tenth International Conference on Mobile, Hybrid, and On-line Learning, 62-65. 構文解析器を利用した主語・述語抽出の検討 川村晃市, 国際文化学(神戸大学紀要), 2018, 31, 51-64. <p>賞罰</p> <p>2021年9月 優秀ラーニングイノベーション賞を受賞 (ラーニングイノベーショングランプリ 2021)</p> <p>2018年3月 eLmL2018 Best Paper Award を受賞 (The Tenth International Conference on Mobile, Hybrid, and On-line Learning)</p>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

栗原 真孝 (KURIHARA Masataka)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	修士(教育学)
学位取得大学	早稲田大学大学院博士後期課程(単位取得満期退学)
主な担当科目	教育原理、現代社会とこどもの権利
専門分野	教育行政学、教育学、外国籍児童生徒の教育
主な研究テーマ	地方教育行政に関する研究 地方行政に関する研究 外国籍児童生徒を対象とする教育政策に関する研究 アメリカにおける移民の教育に関する研究
学会・社会活動	日本教育行政学会、関東教育学会、日本比較教育学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「人口減少社会における地方行政の現在—鹿児島県の新総合体育館建設の議論を中心として—」『新薩摩学 15』南方新社、2020年、345-362頁。 ・『新薩摩学 14 人口減少社会・鹿児島の教育のゆくえ』、南方新社、2020年。(共編著) ・「鹿児島県における戦後教育改革の受容」『新薩摩学 13』、南方新社、2018年、147-163頁。 ・「日本における教育課程改革の動向—学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂を中心にして—」『こども学研究』(鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要)、第9号、2017年、55-62頁。 ・「いのち・栄養・学校教育の諸問題—世界のこどもたちの「いま」について考える—」『新薩摩学 12』、南方新社、2016年、195-205頁。 ・「ニューヨーク市における英語能力が十分ではない児童生徒の実態—日本の外国籍児童生徒の教育への示唆—」『こども学研究』(鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要)、第8号、2016年、55-62頁。 ・「市町村長による県立高校教育政策への関与の実態—鹿児島県を事例として—」鹿児島純心女子大学国際人間学部編『国際人間学部紀要』第22号、2016年、67-83頁。 ・「日本における外国籍児童生徒を対象とする地方教育政策の実施状況」『比較教育学研究』第50号、2015年、3-23頁。 ・「異文化のなかの子ども・青年と教育行政 異文化にどう向き合うか」小松茂久編『教育行政学—教育ガバナンスの未来図』昭和堂、2013年、155-171頁。 ・「外国人の子どもの不就学問題に関する地方教育行政の可能性と限界」『関東教育学会紀要』第38号、2011年、27-38頁。

教員情報

（令和6年5月1日現在）

寺田 将春（TERADA Masaharu）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース （兼）学園本部事務職員
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	水産学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院水産学研究科
主な担当科目	基礎情報処理、情報通信技術を活用した教育の理論及び方法
専門分野	教育工学、学習支援システム
主な研究テーマ	ICT 活用教育, LMS による学習分析
学会・社会活動	日本 Moodle 協会 学習分析学会, 日本教育工学会 薩摩川内市行政改革推進委員会委員
主な業績 （教育・研究等）	<p><学位論文> 三級海技士国家試験対策 e-learning システムの構築, 鹿児島大学</p> <p><論文・筆頭著者></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. LMS を活用した授業改善：領域「環境」 鹿児島純心女子大学人間教育学部紀要, 第 29 号, pp. 23-34, 2023 2. 鹿児島純心女子大学における教育 DX 化の推進に向けたネットワーク整備の取り組み 鹿児島純心女子大学人間教育学部紀要, 第 29 号, pp. 35-42, 2023 3. 鹿児島純心女子大学における同時双方向型授業実施への取り組み 鹿児島純心女子大学人間教育学部紀要, 第 28 号, pp. 47-55, 2022 4. 短期大学におけるイントラネットポータルサイト構築と運用, 鹿児島純心女子短期大学研究紀要, 第 46 号, pp. 105-112, 2016 5. 仮想化基盤を利用した Moodle の構築とバージョンアップに伴う運用業務の軽減, 大学 ICT 推進協議会 2014 年年次大会論文集, W3F-2, 2014 6. 鹿児島大学における大学連携事業での ICT 活用教育の試み, 教育システム情報学会研究報告, vol. 25, no. 3 pp. 31-34 <p style="text-align: right;">など</p> <p><口述発表></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Moodle における様々なアクセス解析の手法, MoodleMoot Japan 2017 2. Mnet によるイントラポータルサイトの構築, MoodleMoot Japan 2016 3. DB の Forum 連携機能開発と海技士試験対策への応用, MoodleMoot Japan 2013 <p style="text-align: right;">など</p> <p><賞与> ベストモデルイノベーション賞 最優秀賞, MoodleMoot Japan 2011</p>

教員情報

（令和6年5月1日現在）

ニコラス ウォルターズ （NICHOLAS Walters）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 児童生徒教育コース
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	MA in TESOL
学位取得大学	University of Edinburgh
主な担当科目	インターラクティブイングリッシュ、イギリス史
専門分野	イギリス史、英語教育
主な研究テーマ	イギリス史、英語教育
学会・社会活動	
主な業績 （教育・研究等）	<p><i>Jane Austen's Pride and Prejudice</i></p> <p>The use of Mystery Television Programmes in the EFL classroom</p> <p>Britain in the 1960s</p> <p>A Report on the Preparation of Resources for a History Course for EFL University Students</p> <p>An Investigation into Different Theories and Methodologies Related to The Teaching of English as a Foreign/Second Language</p> <p>Preparing a Course of Study for Elementary School Students Part 1: A Summary of the Relevant Literature</p> <p>Part 2: A Discussion of Issues Relating to Curriculum and Syllabus Design</p>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

二瓶 正登 (NIHEI Masato)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	博士 (心理学)
学位取得大学	専修大学大学院
主な担当科目	(学部) 心理学概論、基礎心理学など (大学院) 心理統計法特論、臨床心理学研究法特論
専門分野	学習心理学
主な研究テーマ	古典的条件づけにおける数理モデルの構築
学会・社会活動	日本心理学会、日本認知・行動療法学会、日本行動分析学会、日本不安症学会
主な業績 (教育・研究等)	<p><論文：筆頭著者></p> <p>Generalized Associative Model: A model for individual and averaged learning curves in Pavlovian conditioning, PsyArXiv, 2023</p> <p>ABA, ABC, and AAB renewal in fear conditioning using social stimuli and its quantitative description, Learning & Motivation, 84, 2023</p> <p>A model for recovery-from-extinction effects in Pavlovian conditioning and exposure therapy, Learning and Behavior, 2023</p> <p>The renewal effect in fear conditioning with aversive facial expression and negative sentences as unconditioned stimuli, Learning & Motivation, 74, 2021</p> <p>制止学習アプローチに対する古典的条件づけ研究からの批判的検討, 心理学評論, 66, 2024</p> <p>ベイズ統計の心身医学領域における具体的活用法ーベイズ統計を用いることの利点は何か？, 心身医学, 61, 2021</p> <p>不安と関連する障害における古典的条件づけの役割と意義ー古典的条件づけの諸現象と連合学習理論の臨床的応用ー, 不安症研究, 11, 2019</p> <p>Fear of Negative Evaluation Scale 日本語短縮版の因子構造, 信頼性および妥当性の再検討, 不安症研究, 10, 2018</p> <p><書籍></p> <p>認知行動療法辞典, 丸善出版, 2020 (レスポナント条件づけの基礎研究節を担当)</p> <p>ドムヤンの学習と行動の原理, 北大路書房, 2022(第3章及び第9章の翻訳)</p> <p><受賞歴></p> <p>2018年 第10回日本不安症学会学術大会若手優秀演題賞 (筆頭発表者)</p> <p>2019年 日本認知科学会論文賞 (第二著者)</p> <p>2020年 日本心理学会特別優秀発表賞 (筆頭発表者)</p>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

ニコール エーラーズ (NICOLE Ehlers)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	専任講師

【学位・業績等】

有する学位	BA in journalism, PGCE in English
学位取得大学	University of Pretoria
主な担当科目	プレゼンテーション、総合英語演習
専門分野	英語表現
主な研究テーマ	読書、メディア、英語表現
学会・社会活動	—
主な業績 (教育・研究等)	2014-2019 鹿児島県立川辺高校、鹿児島県立薩南工業高校に在職(ALT) 2019-2023 鹿児島純心短期大学に在職(講師、英語寮を兼務)

教員情報

(令和6年5月1日現在)

笹川 裕美 (SASAGAWA Hiromi)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士・公認心理師
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	修士(心理臨床学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学大学院
主な担当科目	〔学部〕福祉心理学、心理学的支援法 等 〔大学院〕臨床心理基礎実習
専門分野	臨床心理学
主な研究テーマ	DV 被害者及び同伴児への支援に関する研究
学会・社会活動	〔学会〕日本心理臨床学会 〔社会活動〕鹿児島市ゲートキーパー養成講座 講師 鹿児島市デートDV講演会 講師
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「祖母の子育て参加における子育ての捉えなおしに関する臨床心理学的研究」 鹿児島純心女子大学大学院修士論文(2010.3月) ・「不登校状態を呈する男児の遊戯療法ー自己誇示に焦点をあててー」 鹿児島純心女子大学大学院心理臨床相談センター紀要第5号

教員情報

(令和6年5月1日現在)

前田 真奈美 (MAEDA Manami)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 こども発達コース
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	教育学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院教育学研究科
主な担当科目	乳児保育Ⅰ・Ⅱ 子ども家庭支援の心理学
専門分野	保育学 幼児教育
主な研究テーマ	ことばの指導 特別な配慮が必要な子どもへの支援
学会・社会活動	日本発達障害学会
主な業績 (教育・研究等)	自閉スペクトラム症児の構音指導—視覚・聴覚マッチングの導入効果—, 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要, 第31巻, pp.84-93

◆看護栄養学部 看護学科

教員情報

(令和6年5月1日現在)

七川 正一 (NANAKAWA Shoichi)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	岡山県立大学大学院保健福祉学研究科
主な担当科目	看護研究法、生活再構築援助論(病態編)、看護探検
専門分野	成人看護学
主な研究テーマ	デジタル動画を用いた救急蘇生法に関する教材の作成と評価 救急蘇生法に関する教育効果の検討
学会・社会活動	日本救急医学会九州地方会
主な業績 (教育・研究等)	<p>1) 成人看護実習における事例発表会の学びと課題の検討 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 21 巻, 46-53, 2017</p> <p>2) 高速船旅客集団事故対策訓練に負傷者役で参加した学生の学びに関する報告 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 19 巻, 37-42, 2015</p> <p>3) 2011 年保健師助産師看護師養成所指定規則が改正に伴う教育課程の概要 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 17 巻, 1-9, 2013</p> <p>4) ACLS 対応のステップアップ学習 4 年目の学習プログラムの概要ならびに 成果報告 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 15 巻, 95-102, 2011</p> <p>5) 【症例とチャートでよくわかる呼吸器のフィジカルアセスメント】 無気肺 を防ぐためのアセスメント 呼吸器ケア 4 巻 5 号, 538-543, 2006</p>

教員情報

（令和6年5月1日現在）

小楠 範子（OGUSU Noriko）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	看護学博士
学位取得大学	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士後期課程
主な担当科目	建学の精神と看護、老年看護学概論
専門分野	老年看護学
主な研究テーマ	高齢者の終末ケア
学会・社会活動	2008, 9～ 薩摩川内市社会福祉協議会評議員 2009, 4～ 日本養護教諭養成大学協議会評議員 2009, 4～ 日本老年社会科学会「老年社会科学」査読委員 2012, 10～ 薩摩川内市地域密着型サービス運営委員
主な業績 （教育・研究等）	小楠範子(2010). 拘束の弊害の一側面としてのスピリチュアル ペイン. ホスピスケアと在宅ケア, 18(3), 318-324 小楠範子(2008). 退院後の生活の場の決定に参加できない高齢者の体験. 老年社 会科学, 30(3), 404-414 小楠範子(2008). 高齢者の終末期の意思把握としての回想の可能性. 日本看護科 学会誌, 28(2), 46-54

教員情報

(令和6年5月1日現在)

塩満 芳子 (SHIOMITSU Yoshiko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	博士（保健学）
学位取得大学	鹿児島大学大学院保健学研究科
主な担当科目	公衆衛生看護学、地域保健診断
専門分野	地域看護 災害看護
主な研究テーマ	災害時における看護職の役割、多職種との連携・協働
学会・社会活動	<p>日本公衆衛生学会、日本地域看護学会、日本災害看護学会 日本老年看護学会、日本応用老年学会</p> <p>平成30年～ 薩摩川内市働く世代の健康づくり対策部会 令和5年～ 薩摩川内市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画推進委員 令和5年～ 鹿児島県看護協会 訪問看護師養成講座講師 令和5年～ 鹿児島大学病院治験審査委員 令和6年～ 鹿児島県公衆衛生学会審査委員</p>
主な業績 (教育・研究等)	<p>1) 福祉避難所で行われた在宅高齢者に対する看護支援. 日本災害看護学会誌. 25(3). 2024 (掲載待ち)</p> <p>2) A Comparison of the Contents of Disaster Nursing Practice and Perceived Difficulties Among Nurses Working at Welfare Evacuation Shelters Between Natural Disasters and Multiple Disasters: A Qualitative Study. International Journal of Environmental Research and Public Health. 19(24). 2022</p> <p>3) 比較的ゆとりのもてる臨地実習で看護計画の立案に重点を置く. 第3章[報告]さまざまな“在宅看護”実習の現場. コミュニティケア. 17(13). 55-59. 2015</p> <p>4) 東日本大震災における被災地復興に向けた保健師の取り組み. インターナショナルナーシングレビュー. 35(3). 173-179. 2012.</p> <p>5) 老人福祉センターA型における看護職と福祉職の緊急対応自己効力感とその関連要因. 応用老年学. 6(1). 39-49. 2012</p>

教員情報

（令和6年5月1日現在）

園田 麻利子（SONODA Mariko）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	保健学修士
学位取得大学	琉球大学大学院保健学研究科
主な担当科目	がんを病む人の援助論、実践看護学演習、感染看護
専門分野	成人看護学
主な研究テーマ	慢性期にある患者の看護、看護学生に関する教育の在り方
学会・社会活動	日本看護協会 看護研究学会 日本緩和医療学会 がん看護学会 日本看護学教育学会 日本放射線看護学会
主な業績 (教育・研究等)	1)看護学生の領域別実習前の演習における学び 2)看護学生の「生と死」に対する考え方の推移 3)実習前演習の評価 4)自己効力感を高める実習前演習のあり方の検討 5)ターミナルケアの授業における学生の死生観に関する検討

教員情報

(令和6年5月1日現在)

福岡 美和 (FUKUOKA Miwa)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	修士(看護学)
学位取得大学	鹿児島大学大学院保健学研究科博士前期課程
主な担当科目	母性保健概論 母子の心理と社会 助産学概論
専門分野	成育看護学分野
主な研究テーマ	小児期虐待 更年期障害 災害
学会・社会活動	日本看護協会会員 日本母性衛生学会会員 日本助産学会会員 日本職業・災害医学学会会員 日本看護科学学会会員 日本女性医学学会会員 日本災害看護学会会員 日本災害医学学会会員
主な業績 (教育・研究等)	<p>【著書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 不妊治療での漢方薬を活用する知識とノウハウ 各論 第4章 経口避妊薬と黄体ホルモン 薬局 別冊 February, 2017 Vol. 68 No. 2 108(316)~114(322)項 女性のエストロゲン/アンドロゲンバランスと骨・カルシウム代謝 医学ジャーナル社 65(673)~74(682)項 経口避妊薬と黄体ホルモン 産婦人科の実際 金原出版 593~600頁 <p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> 離島で働く助産師の問題 -1. やりがいについて- 日本職業・災害医学学会誌 64巻5号 pp.294-299 離島で働く助産師の問題 -2. 困難感について- 日本職業・災害医学学会誌 64巻6号 pp.336-341 Premenstrual Symptoms in Young Students and in Their Mothers at Their Ages International Journal of Nursing and Midwifery Vol. 9(9), pp. 113-120, September 2017 Differences in Associations of Menopausal Symptoms with Job-related Stress Factors in Full-time and Part-time Workers in Japan International Journal of Nursing and Midwifery Vol. 10(1), pp. 1-7, January 2018 日本人女性の更年期障害に関与するマルチリトメントの影響の解明 令和3年度 吉備国際大学研究部門自己点検・自己評価報告書 Association of Interest in Disasters with an Understanding of Disaster Preparedness in Pregnant Women and Women with Infants 吉備国際大学研究紀要(医療・自然科学系)第33号 pp11-19 2023-3

教員情報

(令和6年5月1日現在)

白水 美保 (SHIRAMIZU Miho)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士 (看護学)
学位取得大学	鹿児島大学大学院保健学研究科 (保健学専攻・臨床看護学分野)
主な担当科目	助産管理 助産診断・技術学
専門分野	母性看護学・助産学に関する分野
主な研究テーマ	母親の心理・子育てに関する研究 性教育に関する研究
学会・社会活動	日本看護協会会員 日本助産学会会員 鹿児島子ども虐待問題研究会会員 鹿児島県小児保健学会会員 GID (性同一性障害) 学会会員
主な業績 (教育・研究等)	① 地域別にみた保護者の子どもへのう歯予防行動に関する意識とう歯発生との関係 ② 医療機関における乳幼児健康診査のあり方に関する研究 —保健所における乳幼児健診との比較— ③ 小児看護学実習前後の子ども観の変化 ④ 看護技術教育の充実に向けた取り組みについて ⑤ 性同一性障害の子どもをもつ母親の体験の意味 —性同一性障害を受容することの意味— ⑥ 助産師学生の NICU 実習での学びと助産師コア・コンピテンシーへの影響

教員情報

(令和6年5月1日現在)

福永 知久 (FUKUNAGA Tomohisa)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	首都大学東京(現 東京都立大学)大学院 人間健康科学研究科 看護科学域
主な担当科目	小児看護学、小児保健概論、小児保健特論
専門分野	子どもの保健・健康と安全、乳児保育
主な研究テーマ	乳幼児期の健康と成長発達に関する研究
学会・社会活動	日本小児保健協会、日本看護科学学会、日本小児看護学会、日本保育学会、 日本保育保健協議会
主な業績 (教育・研究等)	(共著) 子ども学がやってきた。高橋弥生編著。一藝社。2017。 (単著) 小児期・思春期を対象とする専門職に必要な保健の知識－小児肥満における子育て支援と生活習慣・発達障害との関連。人と教育。2018。 (共著) 乳児保育－子ども・家庭・保育者が紡ぐ営み－。入江慶太編著。教育情報出版。2018。 (共著) 0歳児の指導計画完全サポート。原孝成監修。新星出版社。2019。 (単著) 高等教育における「乳幼児の養護と教育に関わる科目」の教授のあり方－演習科目の効果的な内容と授業形態－。目白大学総合科学研究。2019。 (単著) 子どもの健康と育ちを支える専門職のあるべき姿－病気や障がいに対する子どもと家族の理解・反応に焦点をあてた支援－。人と教育。2019。

教員情報

(令和6年5月1日現在)

前原 宏美 (MAEHARA Hiromi)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	九州看護福祉大学
主な担当科目	精神健康論 精神看護学 精神看護学援助論 グループダイナミクス 人間関係論
専門分野	精神看護学
主な研究テーマ	発達障害 感情労働 コミュニケーションスキル 思春期の精神的健康
学会・社会活動	日本思春期学会 日本看護学教育学会 日本看護研究学会 医療の質・安全学会他
主な業績 (教育・研究等)	<p>【学術論文】</p> <p>〔特集I第42回日本思春期学会総会・学術集会優秀演題賞候補セッション〕前原宏美：発達障害の子どもの母親の子育ての強みを促す支援. 思春期学 42 (1) 116-126 2024</p> <p>〔原著論文〕前原宏美：看護師と患者の人間関係構築のために必要なコミュニケーションスキル—他者意識と共感の指向性との関連—. 医療の質・安全学会誌 18 (2) 140-147 2023</p> <p>〔資料〕前原宏美：通年型自然体験活動を体験した参加児童の活動前後の生きる力, メンタルヘルス, 自己成長感, 自己効力感の比較. 思春期学 38 (1) 147-160 2020</p> <p>〔原著論文〕前原 宏美, 前原潤一, 宇野木照代, 藤崎資子：精神看護学実習で体験した看護学生の感情労働：アサーション, 攻撃性の影響. 医療の質・安全学会誌 14 (3) 299-305 2019</p> <p>〔資料〕前原宏美：演劇を行っているものにおける自己成長と自己効力感が生きる力の及ぼす影響. 思春期学 37 (1) 160-167 2019</p> <p>〔原著論文〕前原宏美, 前原潤一：精神科看護師の感情労働とコミュニケーションスキルの関連. 医療の質・安全学会誌 13 (3) 255-266 2018</p> <p>〔原著論文〕前原宏美, 前原潤一：精神科看護師のアサーションと患者・看護師の信頼関係形成に向けたかかわり. 日本健康医学会雑誌 27 (1) 24-33 2018</p> <p>〔紀要論文〕前原宏美, 前原潤一, 米元富貴代：精神科看護師の感情労働の分類によるバーンアウトの関係性. 帝京大学福岡医療技術学部紀 13 63-72 2018</p> <p>〔原著論文〕前原宏美, 久佐賀真理, 福本久美子, 柴尾嘉洋, 前原潤一：青年期女子の母性意識と幼少期における体験の関連. 健康支援 20 (1) 43-55 2018</p> <p>〔紀要論文〕前原宏美, 前原潤一：精神科看護師のバーンアウト：精神科職場環境ストレスと感情労働との関連. 帝京大学福岡医療技術学部紀要 12 67-76 2017</p> <p>〔原著論文〕前原宏美, 久佐賀真理, 福本久美子, 柴尾嘉洋, 前原潤一：女子大学1年生のダイエット行動：体型による比較. 思春期学 35 (1) 144-151 2017</p> <p>〔研究報告〕前原宏美, 久佐賀真理, 前原潤一：青年期女子の母性意識とダイエット行動の関連. 女性心身医学 31 (2) 186-194 2016</p> <p>〔資料〕前原宏美：看護学生のコミュニケーション・スキル習得に関する研究概観. 日本看護学教育学会誌 26 (2) 95-100 2016</p> <p>〔活動報告〕前原宏美：思春期男女の演劇活動：生きる力, 自己成長, 自己効力感, こころの居場所としての効果. 思春期学 34 (3) 346-355 2016</p> <p>【学会発表】</p> <p>前原宏美：発達障害の子どもをもつ親の心理的ストレスに対する支援の実践に関する文献的検討. 第18回医療の質・安全学会学術集会 2023</p> <p>前原宏美：発達障害の子どもを母親の子育ての強みを促す支援. 第42回思春期学会総会・学術集会 2023</p> <p>前原宏美：発達障害のある看護学生の教育的支援に関する文献的検討. 日本看護学教育学会第32回学術集会 2023</p> <p>前原宏美：発達障害者の就労支援に関する文献的検討. 日本看護研究学会第49回学術集会 WEB開催 2023</p> <p>前原宏美, 山田美幸：精神科看護師の行動制限における倫理的問題に関する文献的検討. 第17回医療の質・安全学会学術集会 2022</p> <p>前原宏美：精神に障害をもつピアサポーターのパーソナルリカバリー獲得のプロセスに関する文献的検討：看護職の支援と研究の方向性の検討. 日本看護研究学会第48回学術集会 2022</p> <p>前原宏美：看護学生の精神障害者に対する偏見とメンタルヘルスリテラシーに関する文献的検討. 日本看護学教育学会第32回学術集会 WEB開催</p> <p>前原宏美：精神科看護師の攻撃性と自己嫌悪感の関係. 日本看護研究学会第47回学術集会 WEB2021</p> <p>前原宏美：看護学生のコミュニケーションスキルと精神看護学実習における感情労働の関係性. 日本看護学教育学会第31回学術集会 WEB2021 (他30件)</p>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

檣柑 富貴子 (MIKAN Fukiko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	人間科学修士・教育学士
学位取得大学	東洋英和女学院大学大学院・青山学院大学
主な担当科目	緩和ケア
専門分野	がん看護
主な研究テーマ	内分泌療法中の閉経前乳がん患者における日常生活行動の支障感に関する研究
学会・社会活動	日本がん看護学会、日本緩和医療学会、日本看護研究学会
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> 1) Fukiko Mikan. Development of a scale to measure nurses' perceptions of patient-death. Bulletin of the School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Kagoshima University. 2008 ; 18 : 1-7. 2) 日下部明彦, 平野和恵, 池永恵子, 齊藤直裕, 檣柑富貴子, 沖田将人, 稲森正彦, 白土明美, 森田達也. 地域の多職種で作る「死亡診断時の医師の立ち居振る舞いについてのマニュアル」. 癌と化学療法. 2014 ; 41 (Suppl. I) : 42-44. 3) Fukiko Mikan, Makoto Wada, Michiko Yamada, et al. The Association between Pain and Quality of Life for Patients with Cancer in an Outpatient Clinic, an Inpatient Oncology Ward, and Inpatient Palliative Care Units. American Journal Hospice & Palliative Medicine. 2016 ; 33 (8) : 782-790. 4) 日下部明彦, 野里洵子, 平野和恵, 齊藤直裕, 池永恵子, 檣柑富貴子, 結束貴臣, 松浦 哲也, 吉見明香, 内藤明美, 沖田将人, 稲森正彦, 山本裕司, 森田達也. 「地域の多職種でつくった死亡診断時の医師の立ち居振る舞いについてのガイドブック」の医学教育に用いた報告. Palliative Care Research. 2017 ; 12 (1) : 906-910. 5) 檣柑富貴子, 国府浩子. 乳がん患者における更年期症状に伴う日常生活行動の支障に関する概念分析. 日本がん看護学会誌. 2019 ; 33 (Suppl) : 269. 6) 檣柑富貴子. 更年期症状を抱える内分泌療法中の閉経前乳がん患者に対する支援. 2018 年度テルモ生命科学振興財団一般研究開発助成Ⅱ成果報告書. 2020.

教員情報

（令和6年5月1日現在）

柳園 順子（YANAGIZONO Yoriko）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	修士（教育学）
学位取得大学	九州大学大学院人間環境学府教育システム専攻
主な担当科目	学校保健、養護実習Ⅰ・Ⅱ、健康相談活動の理論及び方法、教育原理
専門分野	学校保健、健康相談、教育学
主な研究テーマ	ジェンダー・セクシュアリティと教育に関する史的研究 学校保健・養護教諭制度の成立と発展過程に関する研究
学会・社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・日本教育学会、日本家族社会学会、日本学校保健学会、日本養護教諭教育学会、九州教育学会、関西家族社会学研究会（KAFS） ・日本養護教諭養成大学協議会評議員
主な業績 （教育・研究等）	<p>【著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳園順子編『よくわかる！教職エクササイズ⑧学校保健』ミネルヴァ書房. 2019年（編著） ・香川七海他編『七猫教育テキスト3 教育原理』七猫社. 2019年（共著） ・柳園順子『学校保健』姫路大学教育学部通信教育課程. 2019年（単著） ・柳園順子『養護実習事前・事後指導』姫路大学教育学部通信教育課程. 2019年（単著） ・柳園順子『健康相談活動』姫路大学教育学部通信教育課程. 2020年（単著） <p>【論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「養護教諭制度の成立と普及について—職制20（1961）年までの議論を素材に—」姫路大学教育学部紀要第13号. 15—25. 2020年 ・「性教育の歴史社会学的研究②学校文化における生徒指導・道徳教育・月経指導の諸相」姫路大学教育学部紀要第12号. 41—47. 2019年 ・「戦後改革期の矯風会による純潔運動と母役割の強調—杉並事件をめぐる対応を中心に—」九州教育学会研究紀要第42巻. 37—44. 2014年、他多数 <p>【学会発表等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1970年代初頭における「セクシュアリティ概念」受容の諸相—LAカーケンダールの新しい性教育を焦点に—」日本家族社会学会第30回大会. 2020年 ・「1950年前後の学校における健康教育—1949年中等学校保健計画実施要項（試案）「成熟期への到達」を焦点に—」日本教育学会第70回大会. 2020年、他多数 <p>【競争的資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費助成事業 基盤（C）「戦後日本における性教育構築プロセスに関する歴史社会学的研究」令和元年度～令和3年度 <p>※詳細は researchmap 参照 https://researchmap.jp/yngznyrk</p>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

浅野 倫子 (ASANO Rinko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士 がん看護学専攻
学位取得大学	武蔵野大学大学院
主な担当科目	在宅看護論 地域・在宅看護概論
専門分野	エンドオブライフケア
主な研究テーマ	がん看護 在宅看護 意思決定支援 家族ケア
学会・社会活動	日本がん看護学会・日本家族看護学会・日本統合医療学会 NPO法人ニューマン理論・研究・実践研究会の正会員
主な業績 (教育・研究等)	<p>1. 著書</p> <p>1) 浅野倫子, 三次真理: 第4回 Newman 理論に導かれ、患者・家族との対話を核にしたケアリングパートナーシップのケアを日常の看護実践に織り込む過程ー1つの実践事例紹介ー. がん看護, 24(3), 南江堂, 303-307, 2019.</p> <p>2. 論文</p> <p>1) 浅野倫子, 遠藤恵美子: 最期の療養生活のあり様に揺れるがん患者とその家族と訪問看護師との対話を通じた看護ケアの研究ーニューマンの健康の理論に基づいたケアの試みー. 武蔵野大学紀要, 2012.</p> <p>2) 古里倫子, 遠藤恵美子, 高木真理, 宮原知子: 第7回ターミナル期のAさんとその両親と私の寄り添いーニューマン理論に導かれた寄り添いから生まれた'つながり'のケアとそれが意味すること, マーガレット・ニューマンの理論に基づく看護実践ー看護師の見方が変わり、ケアの違いを生み出すー. 看護実践の科学 38(8) 43-53, 2013.</p> <p>3) 浅野倫子, 濱田寿美, 小楠範子: コロナ禍における看護学生の訪問看護学内実習での学びと今後の課題, 鹿児島純心大学栄養学部紀要 27 p64-71 2023.</p> <p>3. 学会発表</p> <p>1) Rinko Furusato, Emiko Endo: Pattern Recognition Through Dialogue in Family -Nurse Partnership Care within Margaret Newman's Theory and Differences Made in Both Family And Nurse, 11th International Family Nursing Conference, 2013.</p> <p>2) 遠藤恵美子, 浅野倫子他: 全体論のパラダイムに準拠する「疾患/非疾患を合一化した健康とケアリングパートナーシップ」に関する理論と実践事例紹介-ターミナル期にある娘と老父母とのケアリングパートナーシップ-, 第22回日本統合医療学会大会, 2017.</p> <p>3) 浅野倫子, 遠藤恵美子: パターンを掴むために必要な看護師の感性, ニューマン理論・研究・実践研究会, 2020.</p> <p>4) 浅野倫子: 家族間の苦悩に家族員同士で家族のあり方を見出す看護ケアの研究-Newman 理論に基づいたケアの試み-, 日本家族看護学会第28回学術集会, 2021.</p> <p>5) 浅野倫子: 手術が必要である性同一性障害と M. Newman 理論に導かれた対話による看護ケアの研究, 第25回日本統合医療学会学術大会, 2021.</p>

教員情報

（令和6年5月1日現在）

鞍掛 洋美（KURAKAKE Hiromi）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	長崎大学医歯薬総合研究科
主な担当科目	保健指導技術論、福祉・組織実習、健康教育論
専門分野	公衆衛生看護学
主な研究テーマ	保健師教育、公衆衛生放射線看護
学会・社会活動	日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本思春期学会、日本災害看護学会、日本放射線看護学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校衛生看護科の生徒を対象とした教授法（共著）、第3回日本看護研究学会・九州地方会、1999.3 ・ 南薩圏域における産後のメンタルヘルス支援の取組について、第55回鹿児島県公衆衛生学会、2013.5 ・ 在宅気管カニューレ装着児への地域支援について、第27回鹿児島県小児保健学会、2013.8 ・ 医療的ケアを必要とする児への地域支援体制構築に向けた取組について一考察、第56回鹿児島県公衆衛生学会、2014.5 ・ 在宅気管カニューレ装着児への地域支援について、小児保健かごしま第27号、2014.8 ・ 加世田保健所における健やか育児サポート事業「ママリラックス教室」の3年間のまとめ（共著）、小児保健かごしま第27号、2014.8 ・ 始良・伊佐地域における小児在宅医療推進に向けた取組（誌上発表）、第61回鹿児島県公衆衛生学会、2019.5

教員情報

(令和6年5月1日現在)

萩原 久美子 (HAGIWARA Kumiko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	修士(文学)
学位取得大学	上智大学大学院 実践宗教学研究科死生学専攻
主な担当科目	キリスト教と生命倫理, 純心講座
専門分野	高齢者の終末期ケア
主な研究テーマ	死生観に関する研究
学会・社会活動	老年看護学会, スピリチュアルケア学会, 社会福祉学会, 介護福祉学会 日本臨床宗教師会
主な業績 (教育・研究等)	<p><論文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩原久美子・桑原和代(2022). 特別養護老人ホームに勤務する介護福祉士の看取り観に影響を与える要因, 介護福祉学 29(1), 33-34. ・萩原久美子(2021). 介護福祉士が行うスピリチュアルケアについての一考察, スピリチュアルケア研究, 15, 51-64. ・小楠範子・萩原久美子(2009). 胃瘻増設を余儀なくされた高齢者の家族の思い; 胃瘻増設後, 再び経口摂取可能となった高齢者の家族に焦点を当てて, ホスピスと在宅ケア, 17(3), 275-281. ・小楠範子・萩原久美子・狩浦美恵子(2007). 終末期に施設から病院への転院を余儀なくされた高齢者のスピリチュアルペイン, ホスピスと在宅ケア, 15(3), 216-224. ・小楠範子・萩原久美子(2007). 特別養護老人ホームで働く職員の終末ケアのとらえ方; 終末ケアにおける「よかったこと」「むずかしかったこと」に焦点を当てて, 老年社会科学, 29(3), 345-354. ・萩原久美子・長池幸子(2006). 介護施設における経管栄養者への経口摂取支援の取り組み, 臨床看護, 32(2), 276-281. ・小楠範子・萩原久美子(2004). 養護老人ホーム利用者のスピリチュアルニーズ; 設置母体の異なるホーム利用者との面談より, 死の臨床, 43, 87-93.

教職員情報

(令和6年5月1日現在)

福岡 真理 (FUKUOKA Mari)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	長崎大学大学院医歯薬総合研究科
主な担当科目	健康回復支援実践、発達援助論
専門分野	成人看護、放射線看護
主な研究テーマ	災害拠点病院看護師における放射線リスク認知・不安の現状
学会・社会活動	日本放射線看護学会 所属
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 成人看護実習における事例発表会の学びと課題の検討, 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 21 巻, 46-53, 2017. 2) UPZ 内原子力災害拠点病院看護師における放射線リスク認知・不安の現状, 一般社団法人日本放射線看護学会第 10 回学術集会, 口演発表, 2021. 3) UPZ 内原子力災害拠点病院看護師における放射線リスク認知・不安の現状, 日本放射線看護学会誌, 9(2),75-87,2021.

教員情報

(令和6年5月1日現在)

米元 富貴代 (YONEMOTO Fukiyo)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	修士(看護学)
学位取得大学	九州看護福祉大学大学院
主な担当科目	基礎看護技術Ⅰ、看護対象実践
専門分野	基礎看護学
主な研究テーマ	看護学生の学生支援に関する研究 精神看護学における教育方法に関する研究
学会・社会活動	日本看護学教育学会、日本学生相談学会、日本精神保健看護学会、日本精神科看護協会、日本看護福祉学会
主な業績 (教育・研究等)	<p>[論文]</p> <p>米元富貴代, 信太圭一, 小牧祥太郎, 矢田浩紀: テキストマイニングを用いた精神看護学実習における学生の学びに関する研究-統合失調症患者、あるいはうつ病患者を受け持った学生のレポートの解析-, 帝京大学福岡医療技術学部紀要 17, 21-35, 2022.</p> <p>Hironori Yada, Ryo Odachi, Keiichiro Adachi, Hiroshi Abe, Fukiyo Yonemoto, Toshiya Fujiki, Mika Fujii, Takahiko Katoh: Validity and reliability of Psychiatric Nurse Self-Efficacy Scales: cross-sectional study, BMJ Open, 12(1), 1-10, 2022.</p> <p>戸田岳志, 米元富貴代: ケースメソッドを用いた精神看護学実習指導者セミナーの効果, 日本看護学教育学会誌 29 (1), 13-21, 2019.</p> <p>米元富貴代, 山本恵子, 前原宏美: 看護学生を対象とした学生支援に関する文献検討 - 学生支援の3階層モデルによる分類 -, 帝京大学福岡医療技術学部紀要 14, 85-100, 2019.</p> <p>前原宏美, 前原潤一, 米元富貴代: 精神科看護師の感情労働の分類によるバーンアウトの関係性, 帝京大学福岡医療技術学部紀要 13, 63-72, 2018.</p> <p>[学会発表]</p> <p>前原宏美, 山田美幸, 米元富貴代, 倉成由美: 精神科看護学実習における看護学生と対象者の援助的関係形成に関する研究, 日本看護学教育学会第30回学術集会 WEB2020.</p> <p>[社会貢献活動]</p> <p>山根俊恵, 御手洗みどり, 米元富貴代: SDS 支援システム開発講座 2022 年度 (社会連携講座: 山口大学, 宇部市)</p>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

山下 里奈 (YAMASHITA Rina)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	熊本大学大学院 保健学教育部保健学専攻 (博士前期課程)
主な担当科目	基礎看護技術Ⅱ (生活援助)、基礎看護技術Ⅲ (診療援助)、看護方法実践
専門分野	基礎看護学
主な研究テーマ	主体的学習に基づく効果的な基礎看護技術教育に関する研究
学会・社会活動	日本看護研究学会会員 日本看護技術学会会員 鹿児島県看護協会川薩地区教育委員 (2021.6.1~2023.5.31)
主な業績 (教育・研究等)	<p><論文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア棟における実習体験が学生に及ぼす影響(2), 共著, 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 vol18, 2014.3 ・ビデオ映像を用いた振り返りが車椅子移乗技術の自主練習に及ぼす効果, 熊本大学大学院修士論文, 2017.3月 ・学内演習「発達援助実践」の教育効果に関する考察, 共著, 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 vol25, 2021.3月 <p><学会発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア棟における実習体験が学生に及ぼす影響(2), 日本看護研究学会第18回九州・沖縄地方会学術集会, 2013.3月 ・ビデオ映像を用いた振り返りが車椅子移乗技術の自主練習に及ぼす効果, 日本看護技術学会第16回学術集会, 2017.10月 ・看護学生と看護者の倫理的行動および道徳的感受性の検討, 日本看護研究学会第24回九州・沖縄地方会学術集会, 2019.11月

教員情報

(令和6年5月1日現在)

新福 絵里香 (SHINPUKU Erika)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院保健学研究科博士前期課程
主な担当科目	助産診断・技術学演習Ⅰ
専門分野	母性看護学・助産学に関する分野
主な研究テーマ	地域連携に関する研究
学会・社会活動	〈所属学会〉 日本母性看護学会 日本周産期・新生児医学会 〈活動等〉 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター
主な業績 (教育・研究等)	逆搬送患者の思いの変化とその理由の検討 - 逆搬送の情報提供を受けてから逆搬送に至るまで -

教員情報

(令和6年5月1日現在)

濱崎 清歌 (HAMASAKI Sayaka)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	該当なし
学位取得大学	
主な担当科目	母子の健康科学
専門分野	母性看護学・助産学に関する分野
主な研究テーマ	グリーフケアに関する研究
学会・社会活動	日本看護協会会員
主な業績 (教育・研究等)	①死産もしくは新生児死亡の母親やその家族へのケアを経験した助産師の想い ②鹿児島県の助産外来開設に関する助産師の意識, 鹿児島県母性衛生学会誌 ③妊娠期のアセスメントとケア～ハイリスク編 多胎妊娠の妊娠 期から分娩期までの観察・看護ポイントー双胎・品胎妊婦の事例 を通して

教員情報

(令和6年5月1日現在)

足田 幸喜 (HIKITA YUKI)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	学士(看護学)
学位取得機関	独立行政法人大学改革支援学位授与機構
主な担当科目	母性保健概論 母性看護学 母性看護学実践
専門分野	成育看護学分野
主な研究テーマ	思春期教育・育児支援・母子保健
学会・社会活動	日本母性衛生学会
主な業績 (教育・研究等)	【著書・論文】 1. 著書：母性衛生・巻53・3号・200 発行年：2012年10月 褥婦の不安と看護職の役割 ～初産婦・経産婦の比較を中心として～ 2. 著書：母性衛生・巻54・3号・187 発行年：2013年10月 羊水過少症症例に関する検討：妊娠後期発症に焦点をあてて 3. 「家族のエンパワメントに関する研究」～初産婦との関わりの中から～ 4. 「地域住民の健康観に関する調査」

教員情報

(令和6年5月1日現在)

又木 真紀子 (MATAKI Makiko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	看護学士
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	健康教育論・地域組織協働論
専門分野	公衆衛生看護学
主な研究テーマ	地区組織活動
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

(令和6年5月1日現在)

奥平 綾美 (OKUHIRA Ayami)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	学士 (看護学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	健康回復支援 (基礎・応用)
専門分野	成人看護
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

(令和6年5月1日現在)

竹原 晴美 (TAKEHARA Harumi)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	学士(看護学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	小児看護保健実践、小児看護実践
専門分野	小児看護学
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

(令和6年5月1日現在)

濱田 寿美 (HAMADA Hisami)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	該当なし
学位取得大学	
主な担当科目	認知症ケア実践、地域・在宅看護実践
専門分野	老年看護学
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

(令和6年5月1日現在)

脇園 幸恵 (WAKIZONO Yukie)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	学士(看護学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	看護対象実践、看護方法実践
専門分野	基礎看護学
主な研究テーマ	
学会・社会活動	日本看護研究学会
主な業績 (教育・研究等)	1. 看護学生と看護者の倫理的行動および道徳的感受性の検討(2019.11:共同研究) 2. 緩和ケア棟における実習体験が学生に及ぼす影響(3)(2021.3:共同研究)

◆看護栄養学部 健康栄養学科

教員情報

(令和6年5月1日現在)

中野 隆之 (NAKANO Takayuki)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	医学博士、農学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院農学研究科修士課程
主な担当科目	食品学総論, 食品機能論, 食品加工学
専門分野	食品機能学, 食品科学, 電気生理学
主な研究テーマ	食品の成分分析と生理機能に関する研究
学会・社会活動	日本栄養・食糧学会, 日本生化学会, 日本農芸化学会 日本食品科学工学会, 日本聴覚医学会
主な業績 (教育・研究等)	分子栄養学 (建帛社) 食べ物と健康 - 食品学, 食品機能学, 食品加工学 - (医歯薬出版株式会社) (2017) ボタンボウフウ葉と桑葉を含む青汁食品摂取による食後血糖値上昇抑制効果検証試験 - 無作為化二重盲検クロスオーバー試験 - <u>中野 隆之</u> , 野崎 勉, 田中 郁郎, 木村 昌代, 石原 健夫 (査読有) 薬理と治療 (JPT) Vol.44, No.3 p391-p397 (2016) The development of the new black vinegar and the function <u>T. Nakano</u> , T. Nozaki, K. Ishihara ICoFF 2015 The 6th Inter-national Conference on Food Factors Nov. 22~25, 2015 Coex, Seoul, Republic of Korea In vitro anticancer activity of loquat tea by inducing apoptosis in human leukemia cells Phyu Phyu Khine Zar, Satoshi Yano, Kozue Sakao, Fumio Hashimoto, <u>Takayuki Nakano</u> , Makoto Fujii and De-Xing Hou (査読有) Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, 78(10): p1731-p1737 (2014) DEVELOPMENT OF A NONDESTRUCTIVE DETECTOR OF UNSUITABLE CHICKEN EGGS USING LED LIGHTS FOR INFLUENZA VACCINE PRODUCTION K. Kimura, K. Nakano, S. Ohashi, <u>T. Nakano</u>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

安宅 弘司 (ATAKA Koji)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	博士 (医学)
学位取得大学	札幌医科大学
主な担当科目	栄養学総論、生化学 I I、人体の構造と機能
専門分野	薬理学 (行動薬理)、内科学一般 (心身内科)、生物化学 (生化学)
主な研究テーマ	心身症と摂食関連ペプチドの関連、脳骨髄相関による心身症発症機序の解明
学会・社会活動	日本薬理学会、日本解剖学会、日本神経学会
主な業績 (教育・研究等)	<p>Ataka K, Asakawa A, Iwai H, Kato I. Musclin prevents depression-like behavior in male mice by activating urocortin 2 signaling in the hypothalamus. <i>Front Endocrinol (Lausanne)</i>. 2023;14:1288282. doi: 10.3389/fendo.2023.1288282. (2023)</p> <p>安宅弘司 脳腸相関 UPDATE—疾患の予防と健康長寿のための食・栄養・腸環境 摂食障害、臨床栄養、142 巻、875-883 頁 (2023)</p> <p>Kusumoto J, Ataka K, Iwai H, Oga Y, Yamagata K, Marutani K, Ishikawa T, Asakawa A, Miyawaki S. Malocclusion impairs cognitive behavior via AgRP signaling in adolescent mice. <i>Front Neurosci</i>. 2023;17:1156523. doi: 10.3389/fnins.2023.1156523. (2023)</p> <p>Ataka K, Asakawa A, Kato I. Rubiscolin-6 rapidly suppresses the postprandial motility of the gastric antrum and subsequently increases food intake via δ-opioid receptors in mice. <i>Mol Med Rep</i>. 26(5):340. (2022)</p> <p>Iwai H, Ataka K, Suzuki H, Dhar A, Kuramoto E, Yamanaka A, Goto T. Tissue-resident M2 macrophages directly contact primary sensory neurons in the sensory ganglia after nerve injury. <i>J Neuroinflammation</i>. 18(1):227. (2021)</p> <p>Rokot NT, Ataka K, Iwai H, Suzuki H, Tachibe H, Kairupan TS, Cheng CK, Amitani H, Inui A, Asakawa A. Antagonism for NPY signaling reverses cognitive behavior defects induced by activity-based anorexia in mice. <i>Psychoneuroendocrinology</i>. 126, 105133. (2021)</p>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

牧原 勝志 (MAKIHARA Katsushi)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授 / 教員養成センター所長

【学位・業績等】

有する学位	教育学士
学位取得大学	鹿児島大学
主な担当科目	教職論、教育制度論
専門分野	教職研究、教員研修研究、小学校英語教育
主な研究テーマ	教員養成と研修の高度化 主体的・対話的で深い学びを育む小学校外国語科の学習指導
学会・社会活動	九州教育学会、日置市教育委員会外部評価委員、鹿児島県小学校外国語活動・外国語科研究会顧問
主な業績 (教育・研究等)	<p>鹿児島県公立小学校教員・教頭・校長、県小学校外国語活動・外国語科研究会長、鹿児島大学教育学部附属教育総合実践総合センター教授、県総合教育センター企画課長、日置市立中央図書館長を経て現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小学校外国語活動の現状と展望～課題解決的な学習活動の展開～」2011年 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要第20巻 ・「総合講義『教職応用研究』の実践」(共著)2011年 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要第21巻 ・「コミュニケーションへの積極的な態度を育てる小学校外国語活動」2011年 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要第21巻 ・「総合講義『教職実践研究Ⅱ』の実践」(共著)2011年 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要第21巻 ・「コミュニケーションへの積極的な態度を育てる小学校外国語活動～子どもの『気づき』を生かす指導を通して」(共著)2012年 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要第22巻 ・「学級経営の実践的指導力の育成を図る『教職実践研究Ⅱ』の取組～実地観察をもとにした学級経営案の作成を通して～」(共著)2012年 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要第22巻 ・「教員としての職能形成に資する教育システムの構築と運用—新任から10年目教員へいたる卒業後支援体制の構築」(共著)2012・13年 文部科学省特別教育研究経費事業報告書(鹿児島大学教育学部) ・「小学校英語ハンドブッカー—小学校英語の教科化」(共著)2017年 啓林館 ・「小学校外国語科教科書『Blue Sky elementary(5・6年)』」編集協力 2016・17・21・22年 啓林館 ・「小学校英語で取り扱う語彙の音声的特徴 ～二重母音、音節数、子音連鎖に注目して～」(共著)2020年 VERBA 鹿児島大学言語文化論集 ・「新時代を拓く小学校外国語教育実践集 Vol.1 Vol.2」2021・23年 啓林館

教員情報

(令和6年5月1日現在)

松元 圭太郎 (MATSUMOTO Keitaro)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	博士(農学)
学位取得大学	京都大学大学院農学研究科食品工学専攻
主な担当科目	食品衛生学、運動生理学、食品学実験
専門分野	運動と栄養、食品衛生学
主な研究テーマ	運動と栄養、食品の安全性
学会・社会活動	所属学会：日本栄養・食糧学会、日本体力医学会、 日本栄養改善学会、日本臨床栄養学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・咀嚼回数と食事にかかる時間が摂食量および食後の満腹感と空腹感に及ぼす影響 松元圭太郎、野田親世、下橋樺奈、佐々木優 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 23, 68-77, 2019. ・鹿児島県内にて販売されたウナギ加工食品における原料のウナギ種の調査(2013-2017年) 松元圭太郎、角田香澄、加藤恵理、神野沙耶香、富田茉幸、池上菜穂子、小濱翔子、久木園優子、田畑結衣、黒江由莉子、海田彩夏、横山愛、岩田萌子、村田真琴、若林瑞季、佐々木優、下橋樺奈、野田親世 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 22, 38-47, 2018. ・機能性表示食品の認知および機能性表示に関わる食品区分の違いの認識 松元圭太郎、寺園春風 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 21, 13-21, 2017. ・食品の安全性 松元圭太郎 栄養素でわかる食品と健康 WEB 運動テキスト 柴田克己・木戸康博 共編著(培風館), p164-177, 2016. ・健康科学系女子大学生における特定保健用食品の食用油の利用実態 松元圭太郎、村上太郎、石原健吾、岡村浩嗣、矢口友理、小野智子、藤井久雄、橋場直彦 日本栄養・食糧学会誌 68, 233-241, 2015. ・運動とエネルギー代謝・健康増進と運動 松元圭太郎 応用栄養学 伏木亨・山崎英恵 編著(アイ・ケイコーポレーション), p142-154, 2013. ・Branched-chain amino acid supplementation attenuates muscle soreness, muscle damage and inflammation during an intensive training program. Matsumoto K, Koba T, Hamada K, Sakurai M, Higuchi T, Miyata H. <i>J Sports Med Phys Fitness</i> 49: 424-431, 2009. ・Branched-chain amino acids and arginine supplementation attenuates skeletal muscle proteolysis induced by moderate exercise in young individuals. Matsumoto K, Mizuno M, Mizuno T, Dilling-Hansen B, Lahoz A, Bertelsen V, Munster H, Jordenig H, Hamada K, Doi T. <i>Int J Sports Med</i> 28: 531-538, 2007.

教員情報

(令和6年5月1日現在)

今村 佳代子 (IMAMURA Kayoko)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	家政学修士
学位取得大学	日本女子大学大学院家政学研究科食物・栄養学専攻
主な担当科目	栄養教育論、栄養カウンセリング論、応用栄養学
専門分野	栄養教育、スポーツ栄養（公認スポーツ栄養士）
主な研究テーマ	スポーツをする高校生・大学生への栄養教育 高齢者のフレイル予防のための食教育
学会・社会活動	日本栄養士会、鹿児島県栄養士会（理事）、 日本栄養士会研究教育事業部推進委員、 日本栄養改善学会（評議員）、日本スポーツ栄養学会（評議員）、 日本動脈硬化学会、日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本臨床栄養学会
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常朝食型高脂肪負荷食 Kisei-meal による食後高脂血症の評価と食後 TG-rich リポ蛋白代謝に及ぼす影響. 動脈硬化, 28 : 205-213, 2001 : <u>今村佳代子</u>, 丸山千寿子, 都島基夫, 京谷晋吾, 中野里美, 仲森隆子, 丸山太郎 2. Effects of tomato juice consumption on plasma and lipoprotein carotenoid concentrations and the susceptibility of low density lipoprotein to oxidative modification. Journal of Nutritional Science and Vitaminology, 47 : 213-221, 2001 : C Maruyama, <u>K Imamura</u>, S Oshima, M Suzukawa, S Egami, M Tonomoto, N Baba, M Harada, M Ayaori, T Inakuma, T Ishikawa 3. Assessment of LDL particle size by Triglyceride / HDL-Cholesterol ratio in non-diabetic, healthy subjects without prominent hyperlipidemia. J Atheroscler Thromb, 10 : 186-191, 2003 : C Maruyama, <u>K Imamura</u>, T Teramoto 4. 鹿児島県内小学校における食育の現状. 鹿児島純心女子大看護栄養学部紀要, 13 : 43-51, 2009 : <u>今村佳代子</u>, 原口美穂, 迫田真貴子, 瀬戸梢, 瀬上綾, 松木田恵美, 和田みゆき 5. 母親の食生活に対する行動変容の準備性と児童の朝食摂取との関係. 日本公衆衛生学会誌, 59 : 277-287, 2012 : <u>今村佳代子</u>, 瀬上綾, 和田みゆき, 迫田真貴子, 瀬戸梢, 原口美穂, 松木田恵美, 丸山千寿子 6. 男子高校生における習慣的運動と食生活および食意識との関係. 鹿児島純心女子大看護栄養学部紀要, 22 : 48-54, 2018 : <u>今村佳代子</u>, 久永まゆみ, 染川真里佳, 池田ちほみ, 大小田桃子, 野村果代, 和田麻希 7. 子どもの食育と保護者の食生活観. 保健の科学, 61 : 672-676, 2019 : <u>今村佳代子</u> 8. 運動部に所属する女子中学生・高校生アスリートの食生活および食意識の現状～スポーツ栄養に関する講演会の実施より～. 鹿児島純心女子大看護栄養学部紀要, 24 : 51-60, 2020 : <u>今村佳代子</u>, 久木田ヒロミ 9. 生活習慣病予防のための食習慣と運動習慣. 公社 全国スポーツ推進委員会機関誌 みんなのスポーツ, 468 : 18-20, 2020 : <u>今村佳代子</u> <p>(その他) アスレシブ : アスリートのためのスポーツ栄養・食育サイト (日刊スポーツ新聞社) https://athleterecipe.com/ 「KAGOSHIMA 食×スポーツ」コラム担当, 2019～</p>

教員情報

(令和6年5月1日現在)

川野 美智代 (KAWANO Michiyo)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	家政学士
学位取得大学	相模女子大学学芸学部食物学科
主な担当科目	公衆栄養学 公衆栄養学実習 公衆栄養関連法規各論 等
専門分野	食文化 運動及びスポーツ栄養 調理学
主な研究テーマ	食文化 アスリートの栄養マネジメント 認知症発症における栄養条件の検討
学会・社会活動	日本栄養士会 和食文化国民会議 日本臨床栄養協会 日本スポーツ栄養学会等 社会活動：プロバスケット熊本ヴォルターズ栄養サポートアドバイザー、「健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究」熊本大学共同研究 (AMED), 熊本県嘉島町国保血管キレイプロジェクトアドバイザー
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Malnutrition in Alzheimer's disease, dementia with Lewy bodies, and frontotemporal lobar degeneration: comparison using serum albumin, total protein, and hemoglobin level.: A. Koyama, M. Hashimoto, H. Tanaka, N. Fujise, M. Kawano and M. Ikeda 2016. 6 PLoS One ・ 生活習慣を見直し望ましい食習慣を実践できる子どもをめざして～本校における体力向上のための「食」からのアプローチ 国立大学附属学校栄養教諭・栄養士協議会研究紀要 130-136 2014. 7 :川野美智代 ・ 体力を上げるための「食」からのアプローチ(児童). くまもと小児保健研究会 2014: 32-36, 2014. 10: 川野美智代 ・ 特別支援学校と施設における栄養士の連携 日本栄養士会 障害児施設と特別支援学校との連携モデル事業集 195-200, 2014. 7: 高野博文, 川野美智代 ・ 個をみつめつつ集団を大切に「食」指導を目指して〈食に関する個別指導の実践〉熊本大学学習教育研究第5号・6号 41-48, 2014. 10: 川野美智代 ・ 生きた教材をとおして食への意識を高める指導の在り方～部活動を通じた食に関する指導～ 国立大学附属学校栄養教諭・栄養士協議会研究紀要 2010 132-137, 2010. 3: 川野美智代 ・ 望ましい食習慣を身につける子どもをめざして～「食」に関する個別指導～ 国立大学附属学校栄養教諭・栄養士協議会研究紀要 41-48, 2010: 川野美智代 ・ 大学生(医学系)に対する食生活状況調査について 文部省後援大学食堂管理運営研究発表書(財団法人 学校福祉協会) 69-84, 1990. 11: 川野美智代, 潮中頼子, 飯塚美智代 ・ 沖縄の食文化について～庶民の食生活の中にその原点を探る～文部省後援大学食堂管理運営研究発表書(財団法人 学校福祉協会) 11-51, 1989. 11: 蔵本朝香, 川野美智代, 河野裕美, 田村健一郎

教員情報

(令和6年5月1日現在)

木之下 道子 (KINOSHITA Michiko)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	学士(教養)
学位取得大学	放送大学(生活と福祉コース)
主な担当科目	病態栄養学、臨床栄養管理学、臨床栄養活動論
専門分野	病態栄養
主な研究テーマ	CKDにおけるたんぱく制限食の治療効果
学会・社会活動	日本静脈経腸栄養学会、日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本調理科学会、鹿児島県栄養士会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害児(者)における栄養必要量の見直し ・がん患者における症状別レシピ集 ・鹿児島県における脳血管疾患が多い地域と少ない地域での減塩に対する意識調査 ・地域連携のための栄養管理標準化の検討 第1報 ・地域連携(医療・介護・在宅)に必要な栄養管理情報に関する実態調査 ・「伝え継ぐ 日本の家庭料理」著 分担 ・学生を対象とした塩分摂取調査「減塩食試食前後の食塩に対する意識変化」

教員情報

（令和6年5月1日現在）

山元 有子（YAMAMOTO Yuko）	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	人間科学修士
学位取得大学	早稲田大学大学院人間科学研究科
主な担当科目	家庭科教育法, 教職実践演習(中・高), 家庭総合
専門分野	教育工学, 家庭科教育
主な研究テーマ	グループ学習における学習効果
学会・社会活動	日本教育工学会, 日本教育心理学会, 日本家庭科教育学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ピア・インストラクションを取り入れた授業がテスト成績に及ぼす影響. 日本教育工学会研究報告集, 16(4) 103-110 山元有子・向後千春 2016年 ・グループ活動の内容の違いが個別のテスト成績に及ぼす効果. 日本教育工学会研究報告集, 15(2) 51-58 山元有子・向後千春 2015年 ・グループ活動が学習成績と授業評価に及ぼす影響. 日本教育工学会研究報告集, 14(2) 83-90 山元有子・向後千春 2014年 ・シナリオ作成を伴ったロールプレイング授業が批判的思考態度に及ぼす効果. 日本教育工学会論文誌, 37(Suppl.), 33-36 山元有子・向後千春 2013年 <p>教育実践に関する発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの食生活を展望する力を養う小・中・高等学校の家庭科教育～つながりを重視し, 実践的な態度を育成する食に関する学習指導の在り方～ 山本有佳子・五領弘子・山元有子 全国家庭科教育協会研究大会 2010年 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動を充実させるための工夫 平成15年度全国高等学校教育課程研究協議会 2003年 ・教員研修 鹿児島県総合教育センター短期研修(家庭科) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の指導の工夫 2018年 グループ学習の活用とその課題 2014年

教員情報

(令和6年5月1日現在)

喜(寺師) 美里 (KI (TERASHI) Misato)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	栄養科学修士
学位取得大学	中村学園大学大学院 栄養科学研究科
主な担当科目	給食経営管理論、調理学実験
専門分野	給食経営管理実習
主な研究テーマ	給食経営管理に関わる研究、生活習慣と腸内細菌叢との関連
学会・社会活動	日本栄養士会、日本栄養改善学会、日本調理科学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第7回アジア栄養士会議(the 7th Asian Congress of Dietetics: ACD2018) ポスター演題発表(2018) ・ 日本調理科学会 2019年大会「通所リハビリテーション施設に通う高齢者の食習慣と腸内細菌叢に関する断面調査」口頭発表(2019) ・ 日本調理科学会 2023年大会「九州支部の多様な調理法と家庭料理の伝承調査」ポスター発表(2023) ・ 研究ノート「通所リハビリテーション利用高齢者における食生活習慣と腸内細菌叢との関連」栄養学雑誌 81 (5), 260-268, 2023-10-01

教員情報

(令和6年5月1日現在)

真邊 久美 (MANABE Hisami)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	準学士
学位取得大学	鹿児島純心女子短期大学 専攻科
主な担当科目	調理学 調理学実習Ⅰ
専門分野	病態栄養
主な研究テーマ	高齢者におけるフレイル予防と栄養
学会・社会活動	<p>学会：日本栄養士会 日本臨床栄養代謝学会 日本病態栄養学会 日本褥瘡学会 農村医学研修会 鹿児島糖尿病療養指導士会 日本調理科学会 鹿児島調理研究会 社会活動：ロコモ・フレイル予防啓発促進事業「調理実習研修会」講師 鹿児島県栄養士会 「防災クッキング」クッキング講座 鹿児島市グループホーム給食施設担当者研修会 講師</p>
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「女子生徒・学生における食生活習慣に関する研究」 鹿児島純心女子短期大学 地域人間科学研究所 2003. 3 ・「PD 術後の困難を呈した患者に対するアプローチの1例」 第29回食事療法学会発表 2009. 3. 6 ・「血管造影後の食事形態の検討」 第37回九州代謝栄養研究会発表 2009. 3. 24 ・「骨折により褥瘡を形成した肥満女性の1例」 第11回日本褥瘡学会九州地方学術集会発表 2014. 5. 24 ・「NST活動10年を経て」 第31回日本静脈経腸栄養学会発表 2016. 2. 25 ・「生活リズムが定まらない患者に対し、 多職種介入で褥瘡改善へ繋がった1症例」 第13回日本褥瘡学会九州沖縄研究会発表 2017. 4. 29 ・「術後誤嚥性肺炎を発症し、多職種連携・院外スタッフを加えた連携にて 改善へ繋がった1症例」 第21回日本病態栄養学会年次学術集会発表 2018. 1. 12 ・「大学生の親世代におけるメタボとフレイルの認識について」 第41回食事療法学会発表 2022. 3. 5 ・九州支部の多様な調理法と家庭料理の伝承調査 —九州在住の学生における加熱調理機器・調理用具の使用経験について— 日本調理科学会 2023年度大会ポスター発表 2023. 9. 9. 10

教員情報

（令和6年5月1日現在）

久永 まゆみ（HISANAGA Mayumi）	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	人間環境学修士
学位取得大学	福岡女子大学大学院人間環境学研究科
主な担当科目	解剖生理学実験、応用栄養学実習、栄養教育論実習Ⅱ、食品加工学実習
専門分野	スポーツ栄養（公認スポーツ栄養士）、栄養教育
主な研究テーマ	ジュニアアスリートの体格およびパフォーマンスに関連する研究 効果的な栄養教育手法に関する研究
学会・社会活動	日本栄養士会 鹿児島県栄養士会 日本栄養・食糧学会 日本スポーツ栄養学会 日本栄養改善学会
主な業績 （教育・研究等）	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士による料理教室の実施と学生への教育効果 今村佳代子,林葉子,久永まゆみ,興野真由美 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.16 : 53～60 (2012) ・男子高校生における習慣的運動と食生活および食意識との関係 今村佳代子,久永まゆみ,染川真里佳,池田ちほみ,大小田桃子,野村佳代,和田麻希 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.22 : 48～54 (2018) ・栄養教育論実習における学生の情報収集・分析力の評価 久永まゆみ,今村佳代子 鹿児島純心大学看護栄養学部紀要 Vol.28 : 65～74 (2024) <p>【学会発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子体操部に所属する児童生徒における栄養摂取状況および食意識の現状 久永まゆみ, 今村佳代子：日本スポーツ栄養学会 第2回大会（2015） ・保護者の食意識の違いが高校男子バスケットボール選手の食意識および体格に与える影響 久永まゆみ, 今村佳代子他：日本スポーツ栄養学会 第4回大会（2017） ・高校男子バスケットボール選手に対する増量を目的とした栄養サポート 久永まゆみ, 今村佳代子他：日本スポーツ栄養学会 第5回大会（2018） ・高校生バスケットボール選手の行動変容ステージと体格および栄養摂取状況 久永まゆみ, 今村佳代子他：日本スポーツ栄養学会第8回大会（2022） ・管理栄養士養成課程に在籍する女子大学生の体型認識と食生活～学生の栄養教育論実習での取り組みより～ 久永まゆみ, 今村佳代子：第10回 日本栄養改善学会九州・沖縄支部学術総会（2023） ・高校生男子バスケットボール部に対する体格タイプを指標とした栄養サポート 久永まゆみ, 今村佳代子他：日本スポーツ栄養学会第9回大会（2023）

教員情報

(令和6年5月1日現在)

南 勇真 (MINAMI Yuma)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	修士 (理学)
学位取得大学	東京大学 大学院理学系研究科
主な担当科目	栄養学実験、生化学実験、食品学実験
専門分野	有機化学
主な研究テーマ	天然物化学、有機合成化学
学会・社会活動	日本農芸化学会、日本気象予報士会
主な業績 (教育・研究等)	<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none">東京大学 ティーチングアシスタント <p>【研究】</p> <ul style="list-style-type: none">“Kinetic Analysis of the Glucose/Glycine Maillard Reaction for Entry-Level Student Experiments” Y.Minami、2024年3月、鹿児島純心大学看護栄養学部紀要第28号

教員情報

(令和6年5月1日現在)

岩元 幸奈 (IWAMOTO Yukina)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	学士(栄養学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	給食経営管理実習、調理学実験、食品学実験
専門分野	給食経営管理論、調理学
主な研究テーマ	植物性食品の調理性
学会・社会活動	日本栄養士会 鹿児島県栄養士会
主な業績 (教育・研究等)	病院・施設における地域連携に必要な栄養管理情報の実態把握

教員情報

(令和6年5月1日現在)

上原 友香里 (UEHARA Yukari)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	学士 (栄養学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	臨床栄養学実習 給食経営管理応用実習
専門分野	臨床栄養学
主な研究テーマ	高齢者の栄養問題について
学会・社会活動	日本栄養士会 鹿児島県栄養士会
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

(令和6年5月1日現在)

迫田 夏貴 (SAKODA Natsuki)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	学士(栄養学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	調理学実習Ⅰ、応用調理学実習
専門分野	給食経営管理論、調理学
主な研究テーマ	高齢者の栄養問題と嚥下食について
学会・社会活動	日本栄養士会 鹿児島県栄養士会
主な業績 (教育・研究等)	